

**尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査  
結果報告書**

**平成 29 年 3 月**

## 【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	14
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	49

# I. 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

本調査は「第6次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

## 2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域  
調査対象 : 18歳以上の市民から1,000人を無作為抽出  
調査時期 : 平成29年2月  
配布数 : 1,000票  
回収数 : 374票  
回収率 : 37.4%

## 3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

## II. 調査の結果

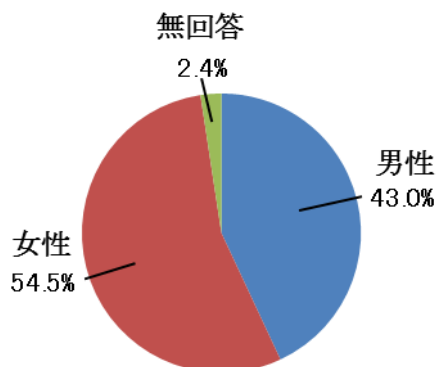
---

# 1. 回答者について

## 問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が54.5%、「男性」が43.0%、無回答が2.4%となっています。

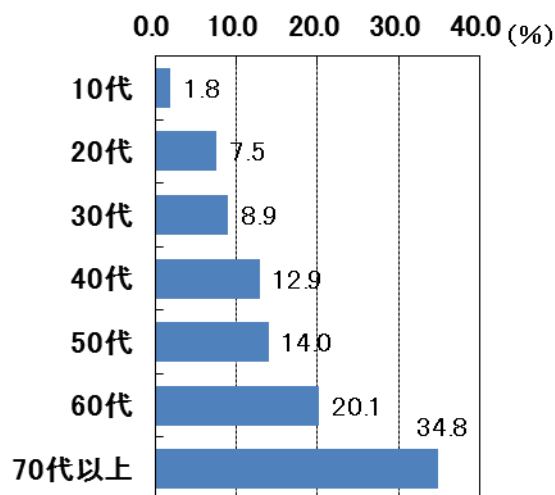
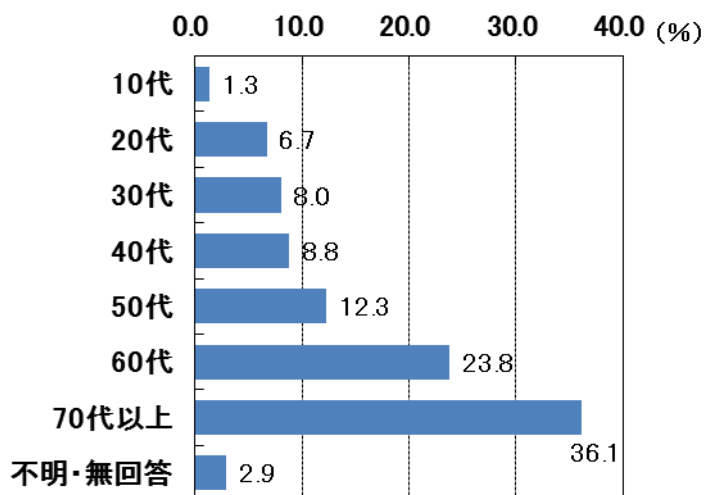
N=374



## 問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が23.8%、「70代以上」が36.1%と、60代以上が6割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「50代」「60代」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N=374



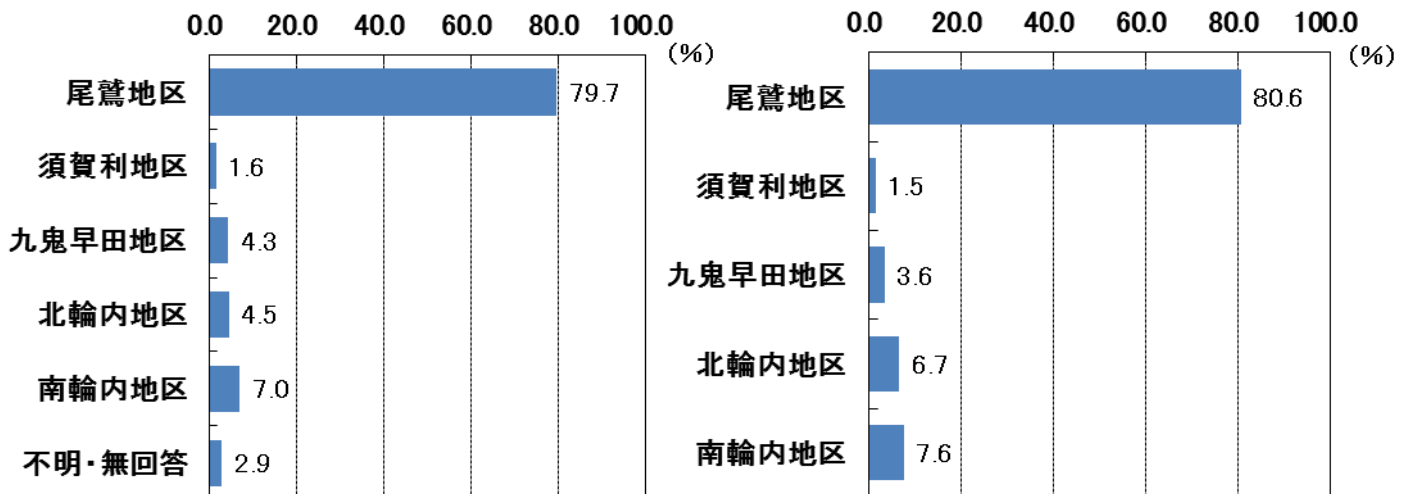
(参考) : 住民基本台帳平成28年4月現在

※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比。10代は18、19歳のみ。

### 問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 79.7%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、ほぼ同じ割合となっています。

N=374

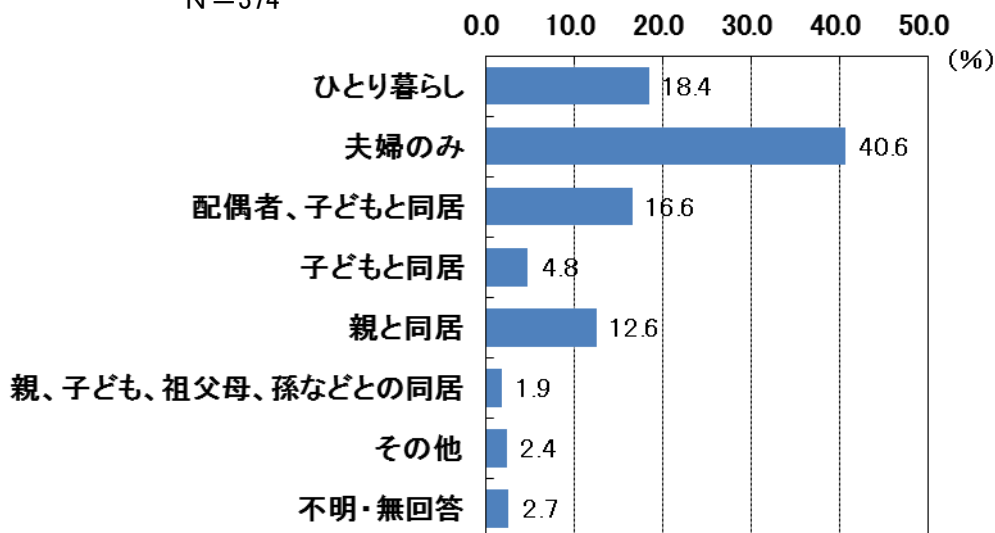


(参考)：住民基本台帳平成 28 年 4 月現在

### 問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 40.6%、「ひとり暮らし」が 18.4%、「配偶者、子どもと同居」が 16.6%となっています。

N=374

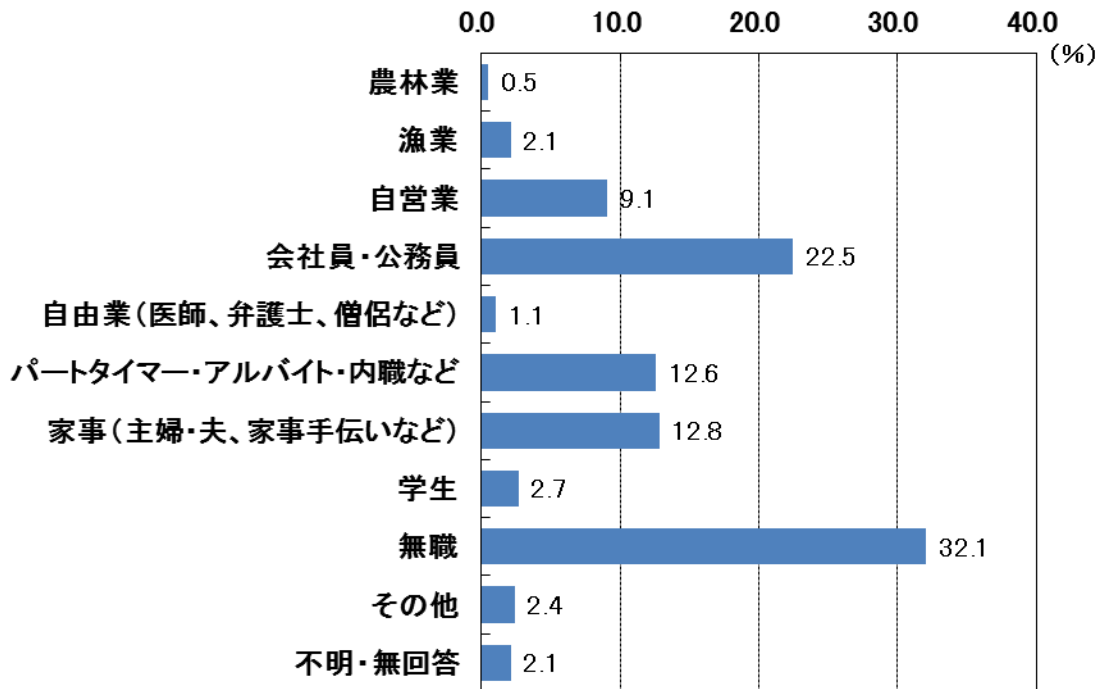


その他	
配偶者・親	施設入居
配偶者、妹	親、子ども
兄弟	配偶者、配偶者の姉

### 問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「無職」が 32.1%、「会社員・公務員」が 22.5%、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 12.8%となっています。

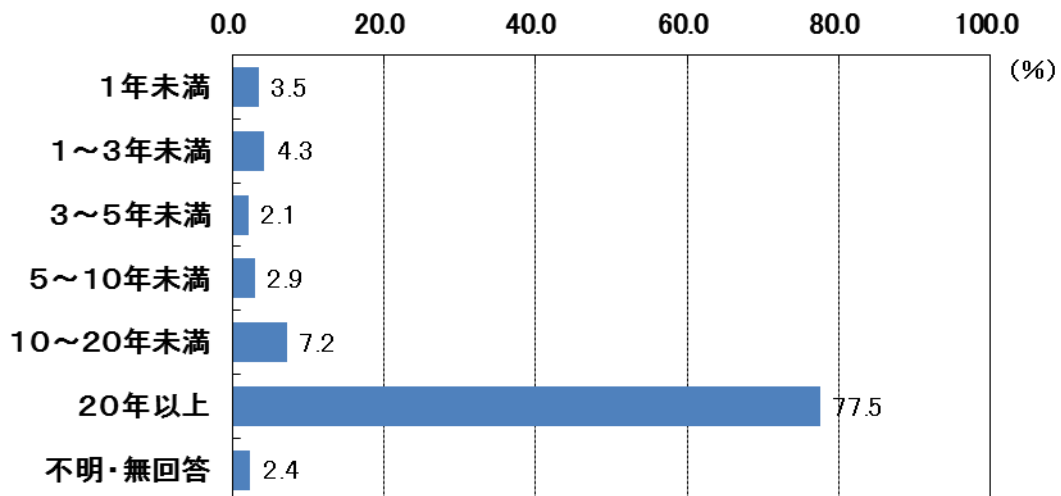
N=374



### 問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が 77.5%と大半を占めています。

N=374

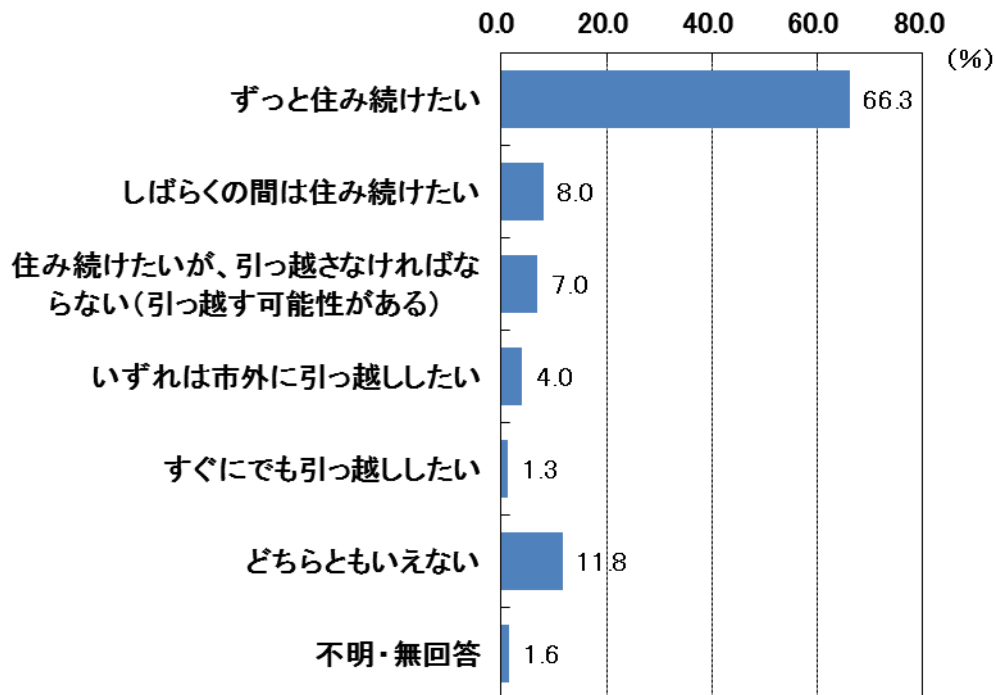




## 2. 本市での生活について

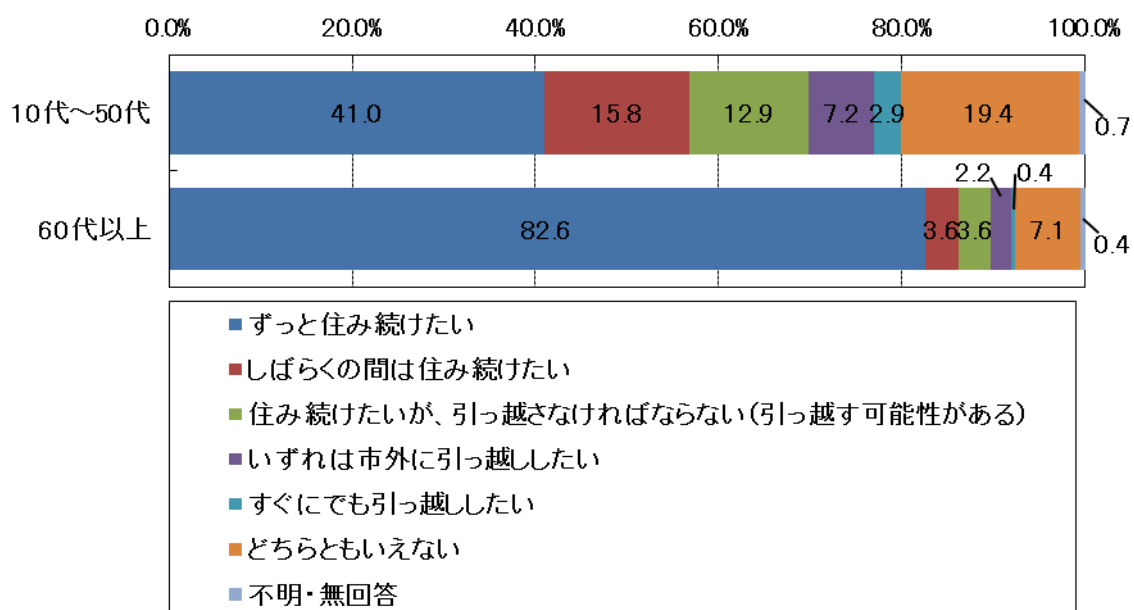
### 問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が66.3%、「しばらくの間は住み続けたい」が8.0%と、「住み続けたい」と答えた方が合計で74.3%と4分の3近くを占めています。



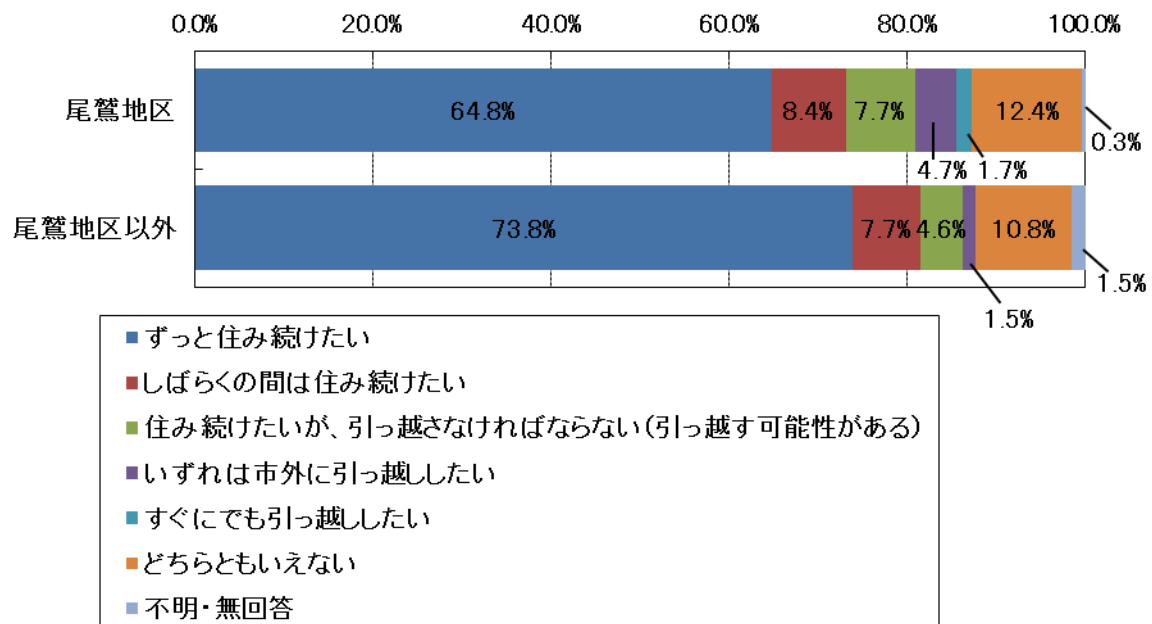
### 問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では8割を越えているのに対し、「10代～50代」では4割程度と年代による差が見られます。



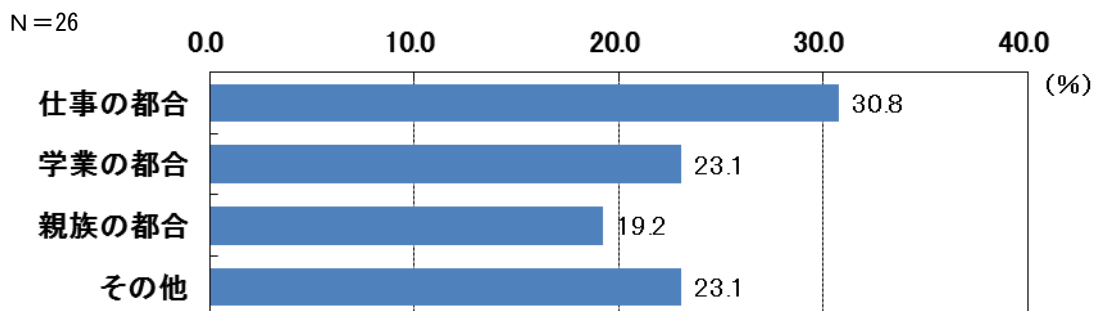
## 問7×居住地区

定住意向を地区別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



## 問8 【問7で「住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

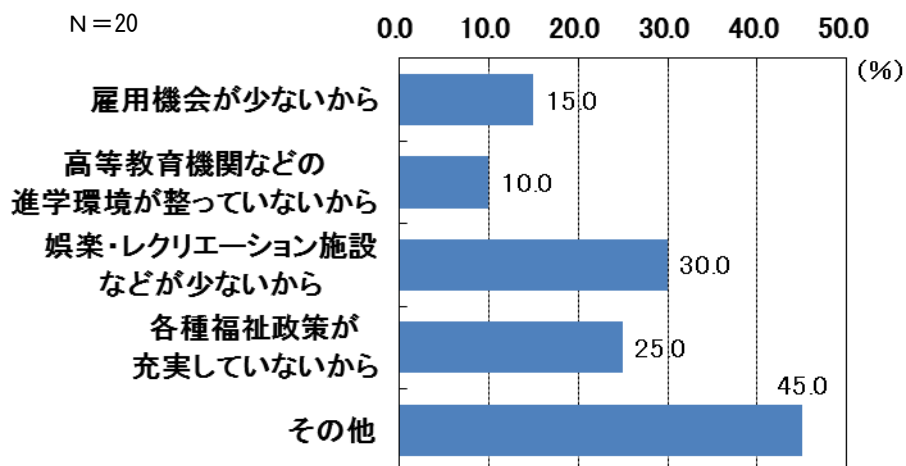
引っ越さなければならない理由には、その他に老後の生活や病気になった際の生活を心配する回答がありました。



その他	
病気になった時、尾鷲では、どうにもならない	
老後	
息子が私達の年齢を考えて同居しようと言っている	
医療に不安がある	
一人の生活が困難になった時	
結婚	
家を持っているから	

**問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにでも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。**

引っ越したい理由は、「「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が 30.0%、「各種福祉政策が充実していないから」が 25.0%となっています。

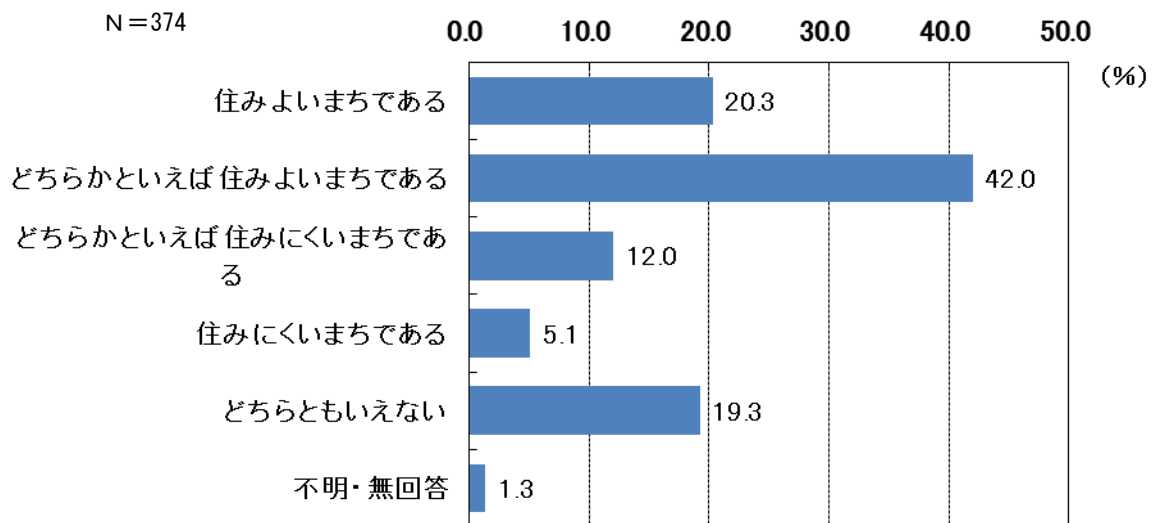


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
若者の仕事が無い
自己中心的な方が多いと思います。依存性が高い
アパートの家賃が高いから。住宅手当が少ないので安い市街に行こうと思っている。
子供達は他地域に住んでいるため
都会へ出掛けるのに時間がかかりすぎるから
津波の心配がある
医療器具が古い。院内の人的対応が良くない
娘、息子のところへ

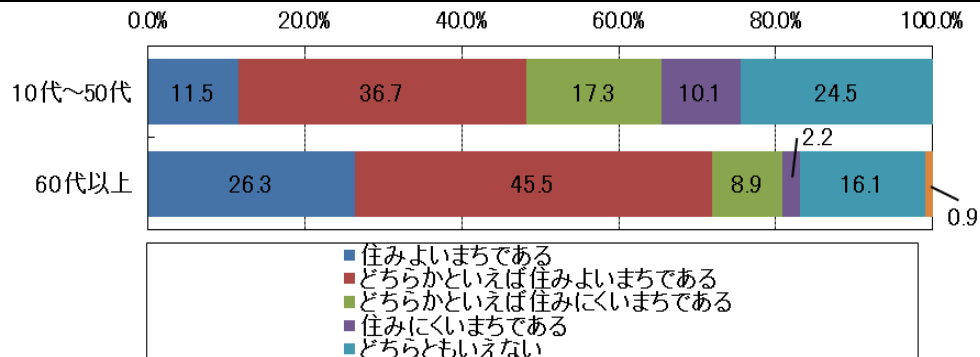
### 問 10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が42.0%、「住みよいまちである」が20.3%となっており、合計で62.3%が「住みよいまち」であるとしています。



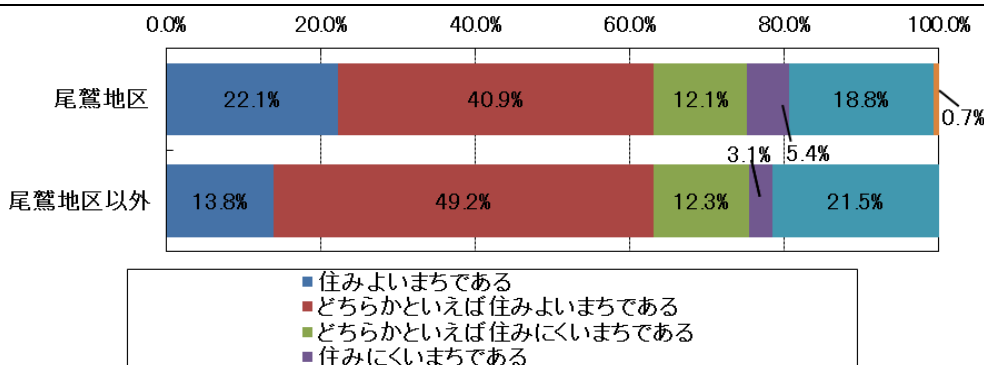
## 問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では7割以上であるのに対し、「10代～50代」では5割を切るなど年代による差が見られます。



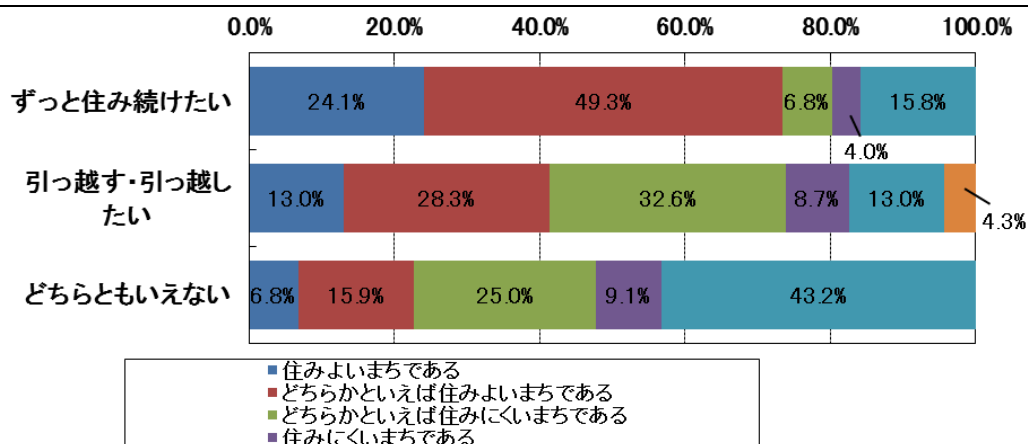
## 問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、いずれの地区でも6割を越えています。



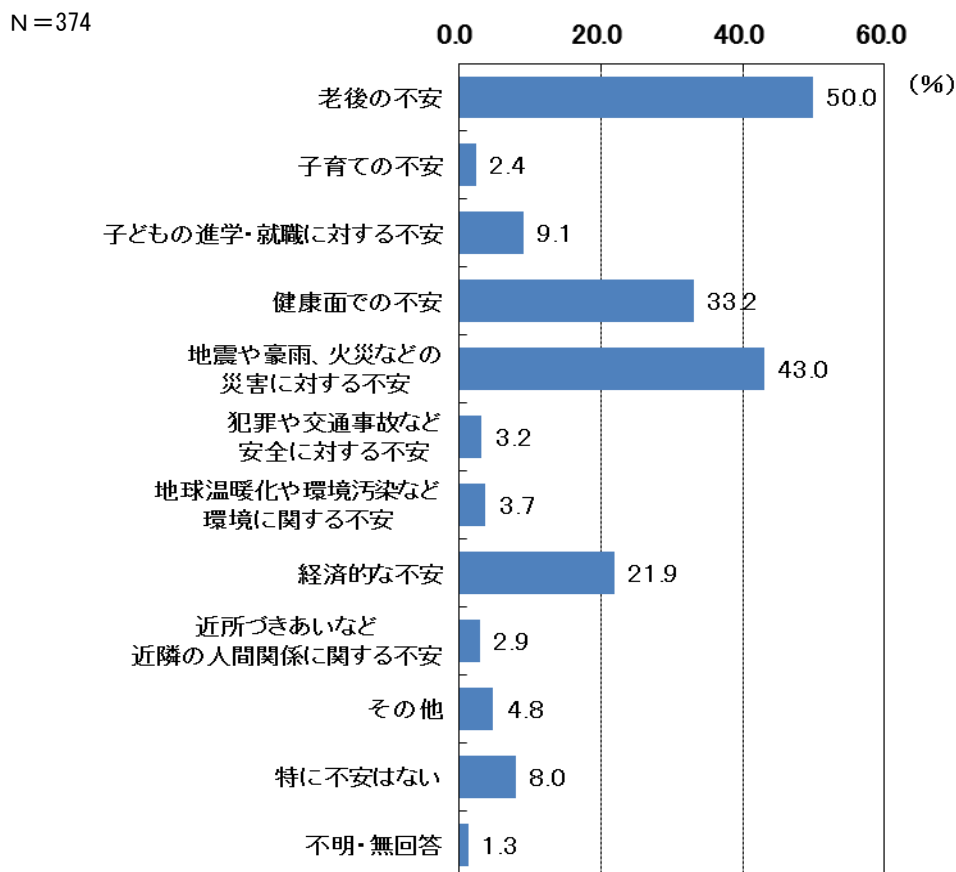
## 問 10×定住意向

尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では3割程度にとどまり、定住意向による差が見られます。



## 問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

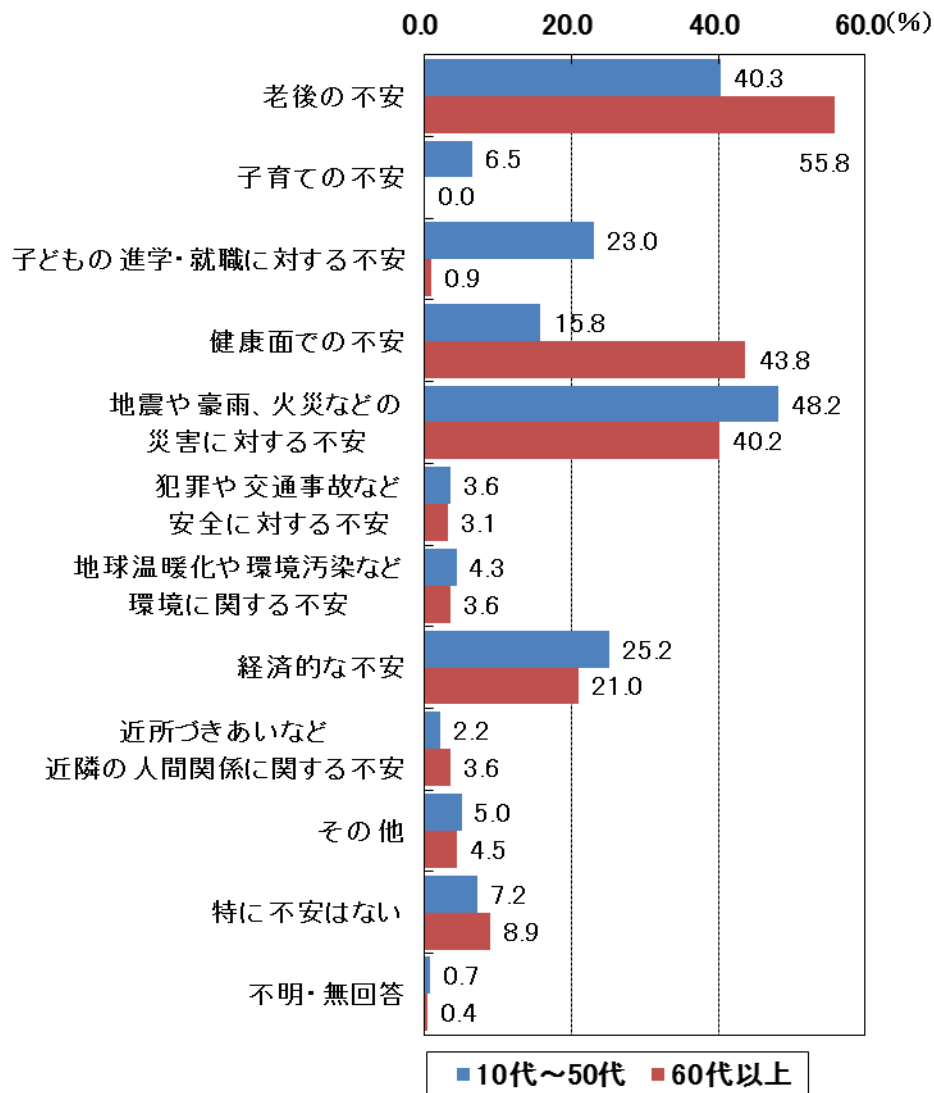
現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が 50.0%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が 43.0%、「健康面での不安」が 33.2%となっています。



その他	
市の財政運営	スーパー、病院等遠隔なので将来が心配（買い物、通院等）
高速道路が開通して後の尾鷲市の経済	この街の将来
仕事や家族との関係	物価が高い
交通の不安	医療関係
車のつかえない状態（年齢的に）になった時はどうなるのか	娯楽が少ない
何も前に進まない尾鷲市の衰退が気がかりです	社会福祉の値上げ、原発汚染
医療格差の不安	交通に非常に不便を感じます
救急車が入らない町	子供（障がい者）の将来について
医療機関が近くにない	子供に負担をかける

## 問 11×年代

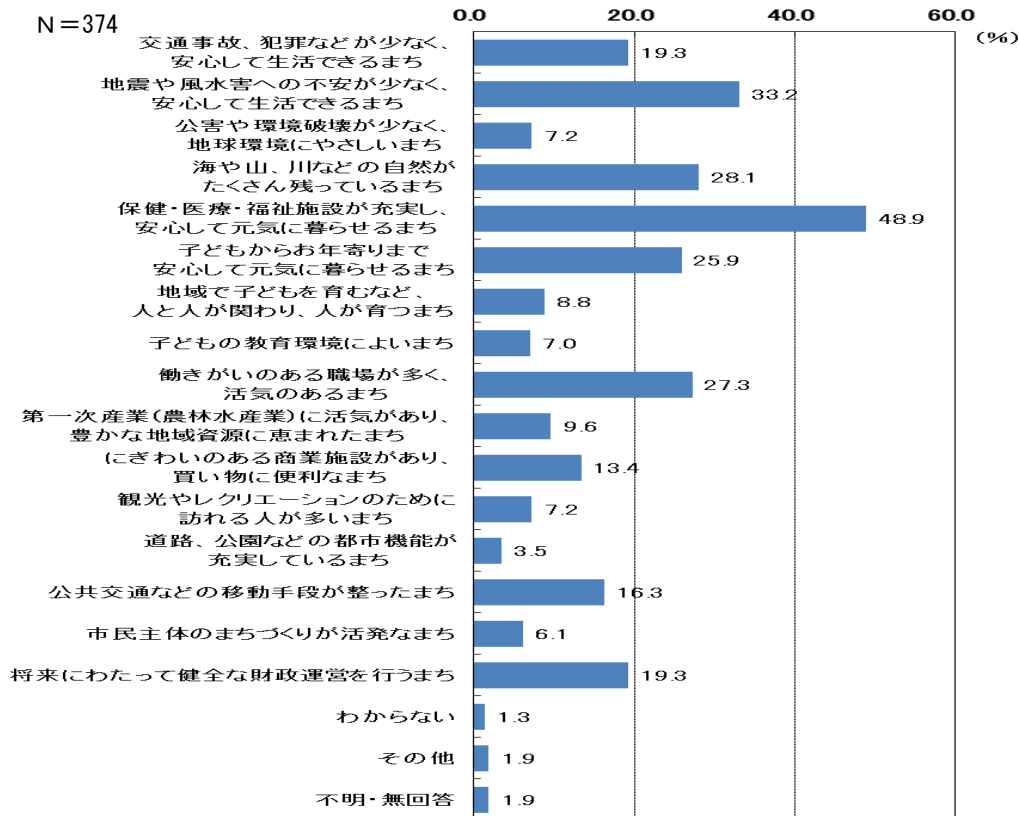
現在不安に感じていることを年代別に見ると、「10代～50代」では「子どもの進学・就職に対する不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高く、「60代以上」では「老後の不安」や「健康面での不安」の割合が高くなっています。



### 3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。  
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 48.9%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 33.2%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 27.3%となっています。

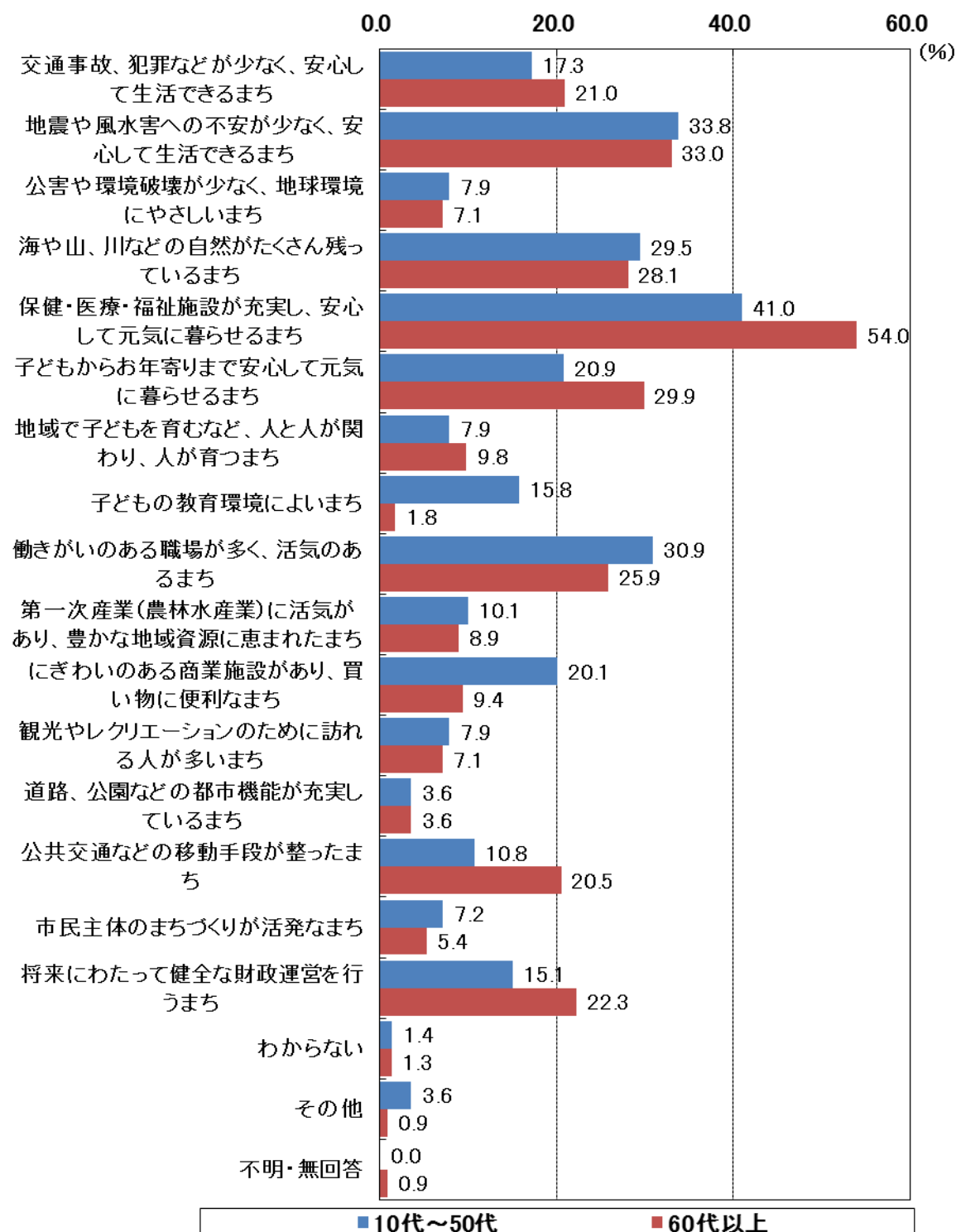


その他
山が沢山有るので住宅地を増やして欲しい。地震が来たら津波が心配なので高台に土地があれば良いと思う
母子家庭が安心して働ける。子供が病気になった時、自分しか見る人がいないのに「見てくれる人がおらん。働けん」などひどい言葉をたくさん言われる。それでは死ぬと言われていいるのと変わらないから、そんな事のない町になって欲しい
高齢者に感謝。施設など充実させ雇用を増やす事ができ老若男女に働く場所をつくってあげたら若いも若いも、たがいたてあいたすけあう施設、自然が素晴らしい尾鷲、共存してあげたらと思います
旧町内は良いと思うが周辺地区は不便
公共の物や場所を自分のものと思う老人が多い
物造りの企業の誘致。昭和 40 年代を思い出す (ダム、火力、東邦、建設者)



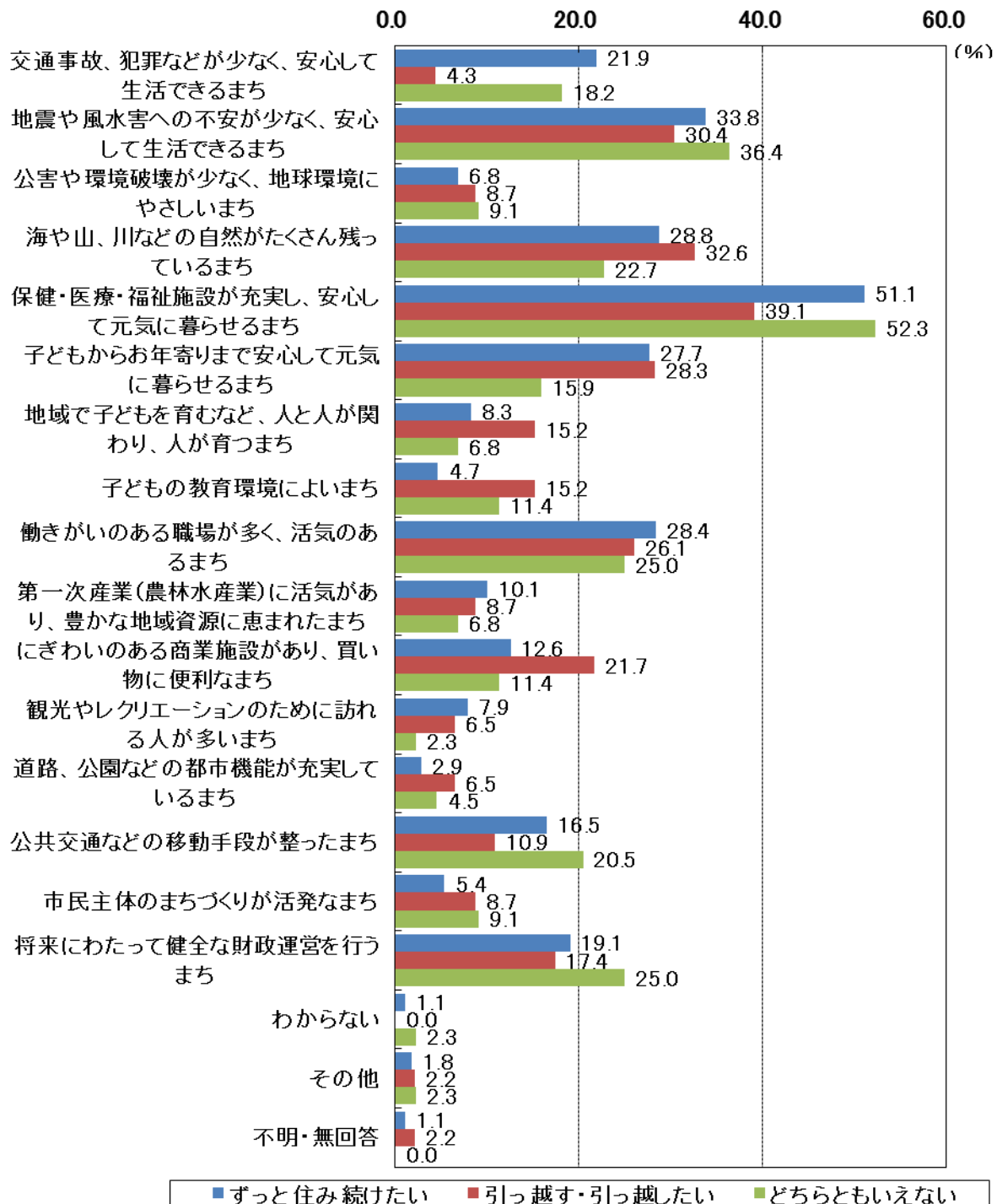
## 問 12×年代

尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、「10代～50代」では「海や山、川などの自然がたくさん残っているまち」や「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が高く、60代以上では「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」や「子どもからお年寄りまで安心して元気に暮らせるまち」が高くなっています。



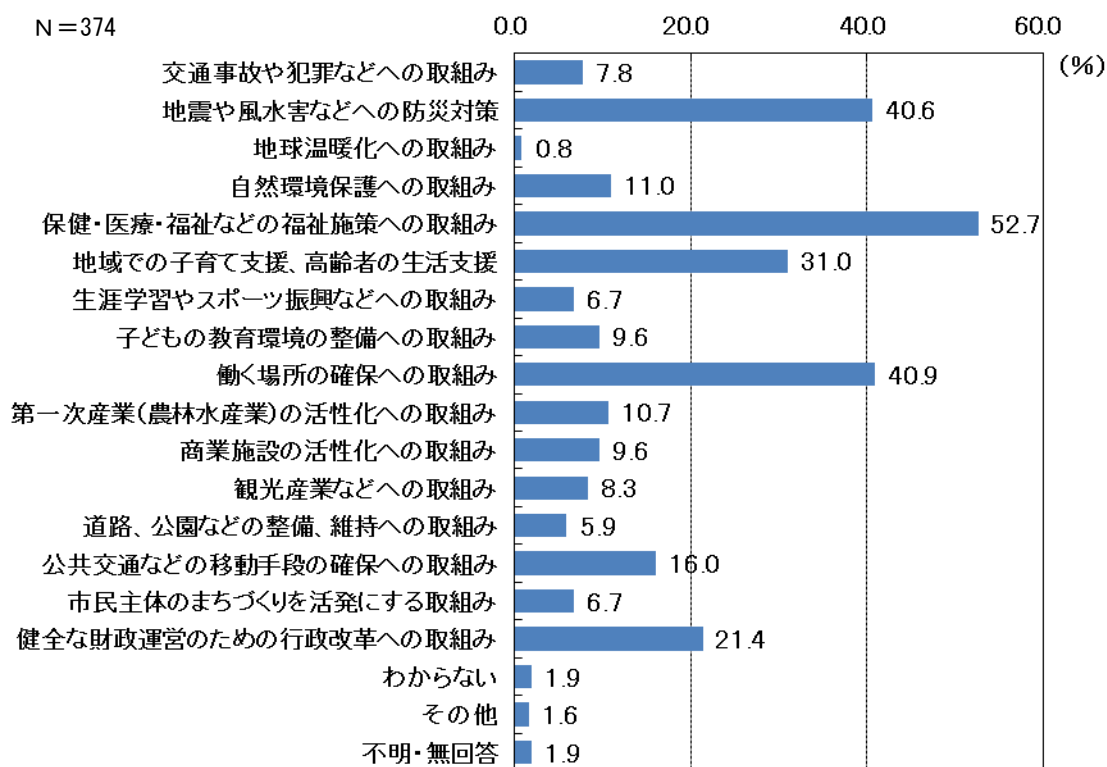
## 問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方に共通して、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が最も高くなっています。



**問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。(複数回答)**

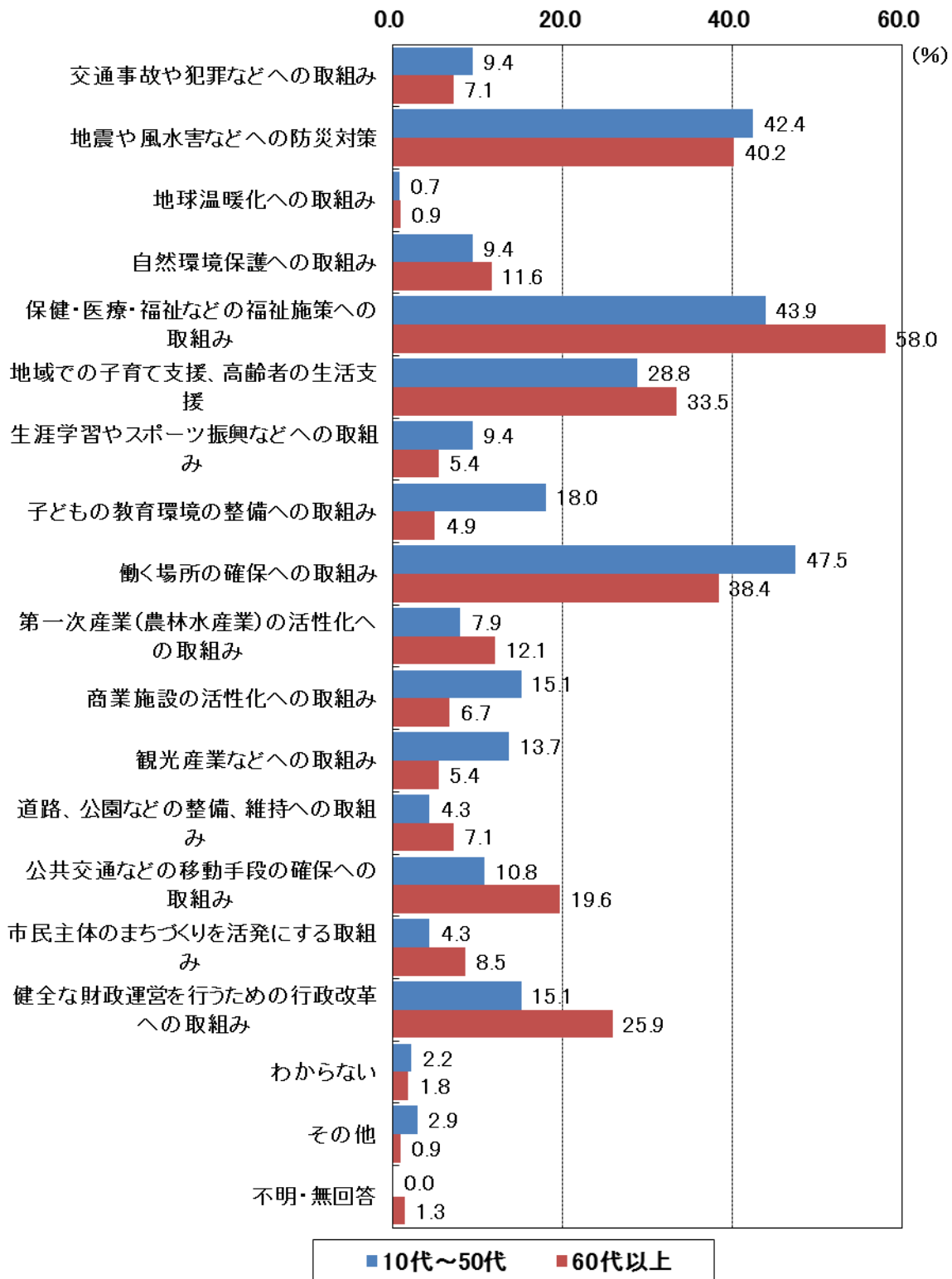
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が52.7%、「働く場所の確保への取り組み」が40.9%、「地震や風水害などへの防災対策」が40.6%となっています。



その他
街灯を増やしてあげて欲しい。お年寄り子供の為に、どこの公衆トイレも汲み取り式が多く汚い。他県が来る観光客にも恥ずかしいと思う
上記のように母子家庭が安心して働ける事
生涯スポーツに社交ダンスを取り入れて欲しい
老いと若いが共存していける支援、互いに立て合い、助け合い、人助けたら、我が身助かるの精神
人口の多い地区だけでなくこちらにも目を向けて欲しい
中井町で生まれ、今町で育った思い出

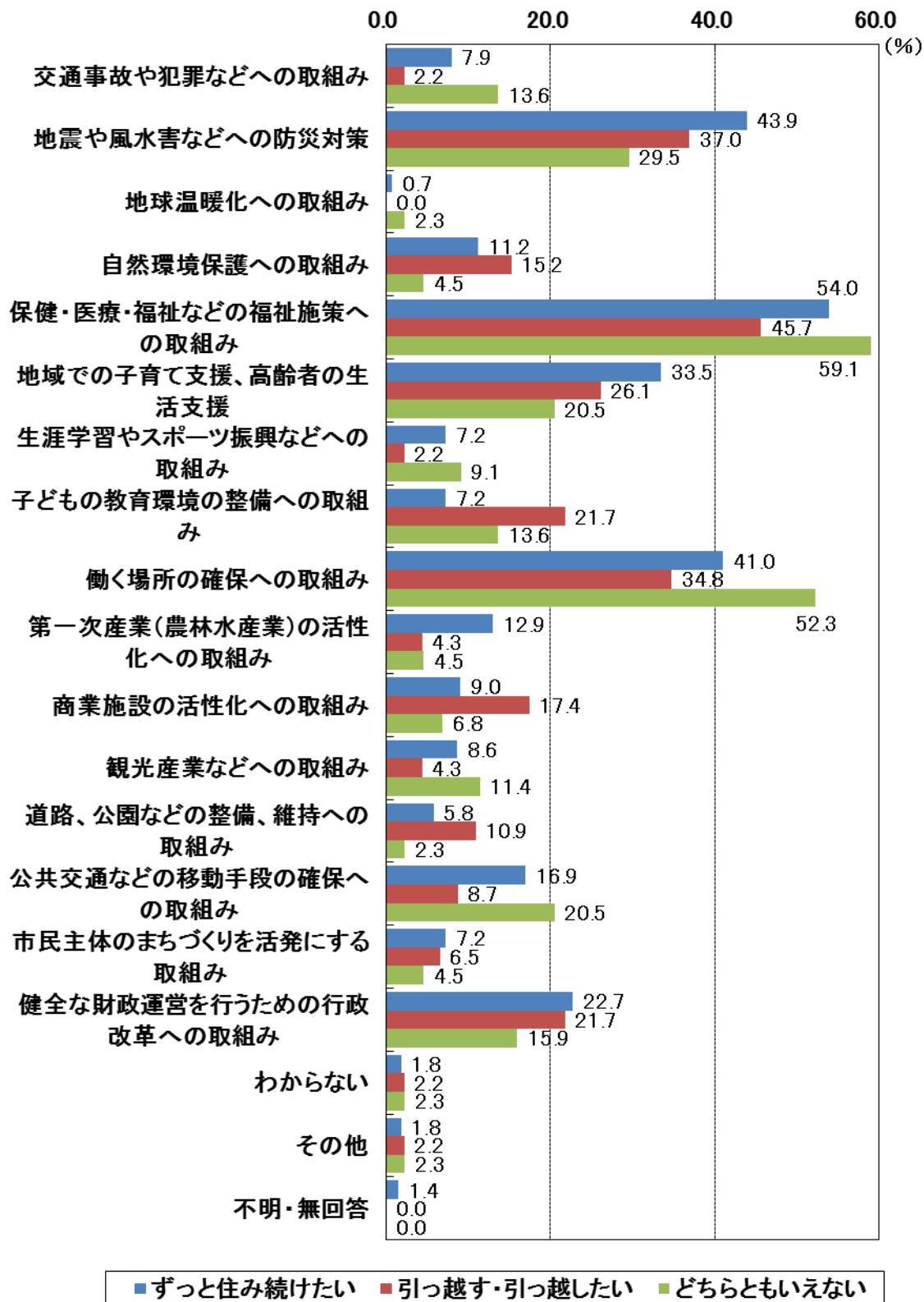
## 問 13×年代

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、10代～50代では「働く場所の確保への取り組み」が最も高く、60代以上では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高くなっています。



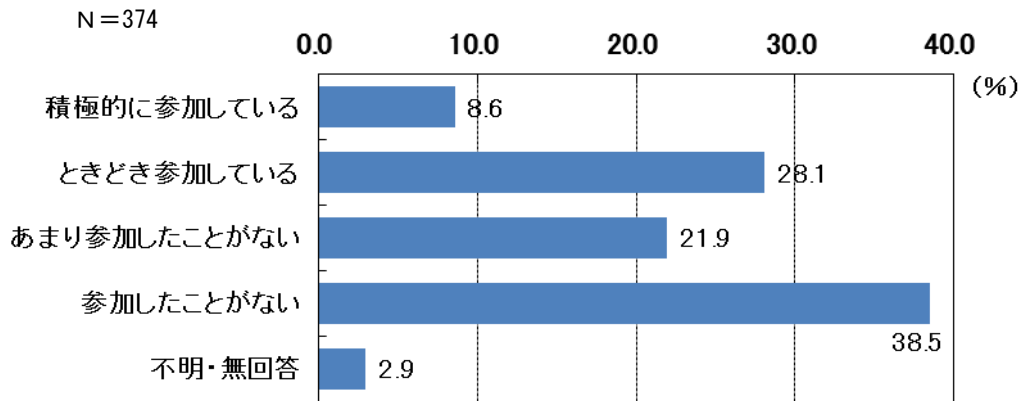
### 問 13×定住意向

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」と答えた方、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方、いずれも「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高くなっています。



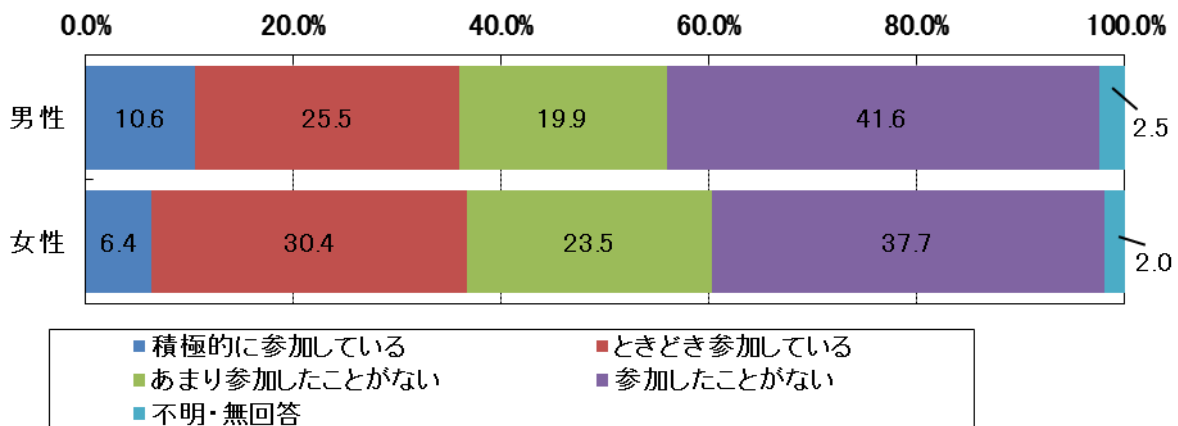
### 問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「ときどき参加している」が28.1%、「積極的に参加している」が8.6%と、「参加している」層は約4割となっています。



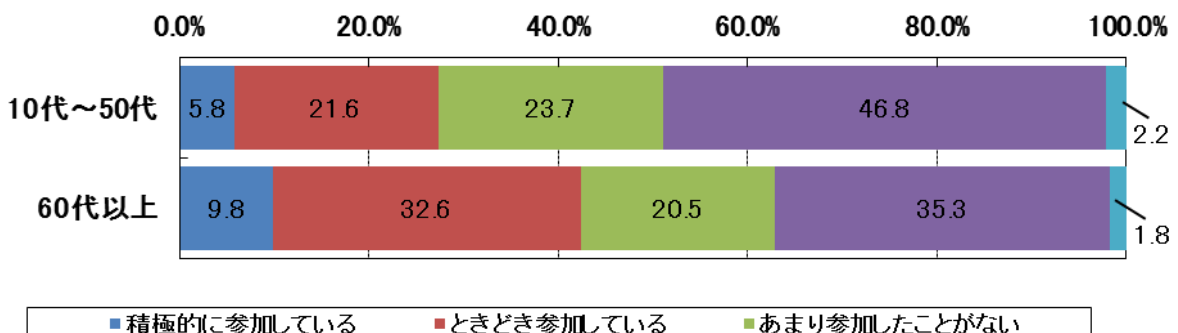
### 問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「女性」の方が若干高くなっています。



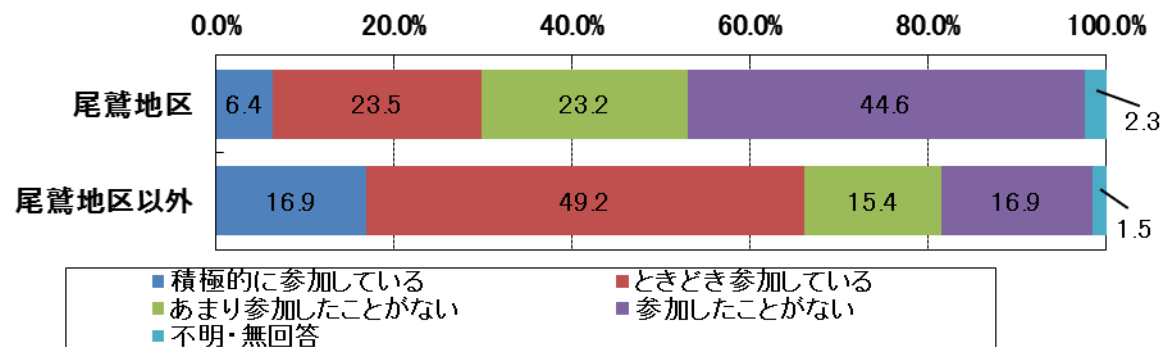
### 問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「10代～50代」では3割を切っているのに対し、「60代」では4割を越えています。



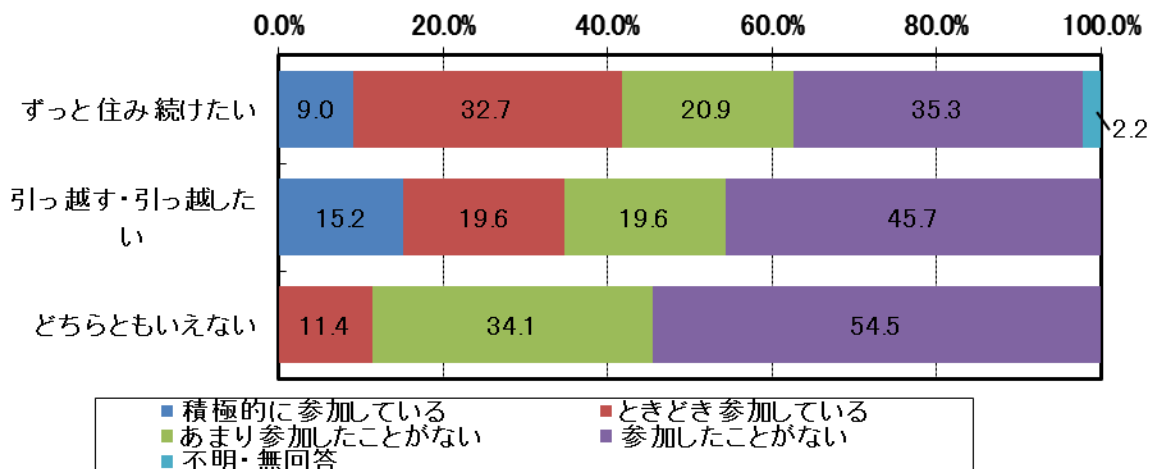
## 問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では3割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では6割以上となっています。



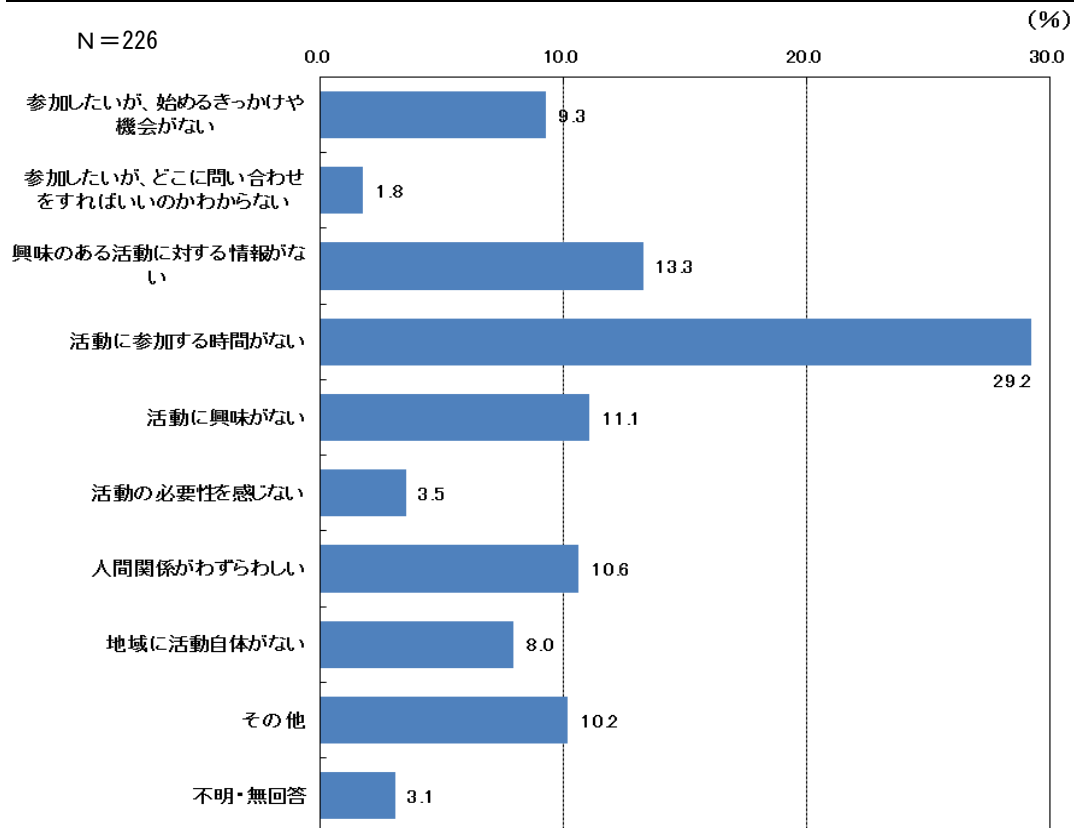
## 問 14×定住意向

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」と答えた方の「積極的に参加している」、「ときどき参加している」割合が高くなっています。



**問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。**

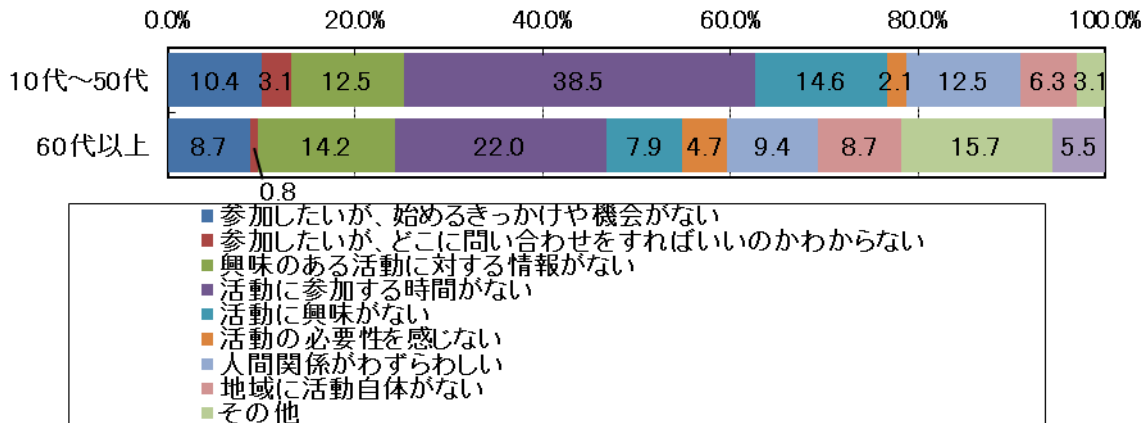
地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 29.2%、「人間関係がわずらわしい」が 10.6%、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」が 9.3%となっています。





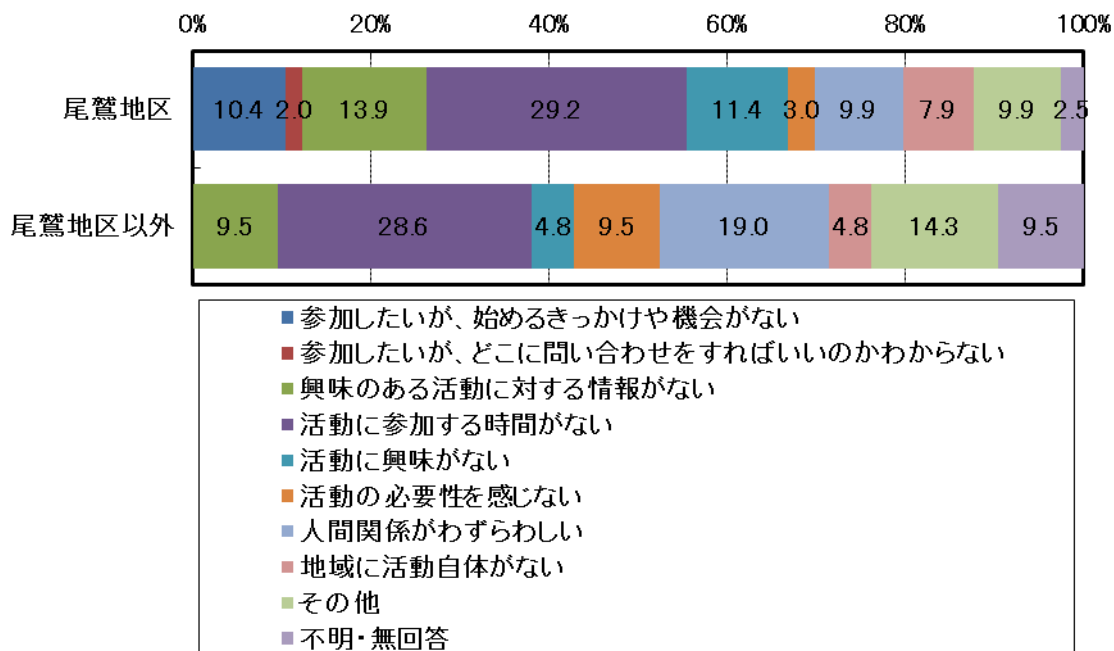
## 問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、「活動に参加する時間がない」の割合は、「10代～50代」が「60代以上」に比べ2倍近くになっています。



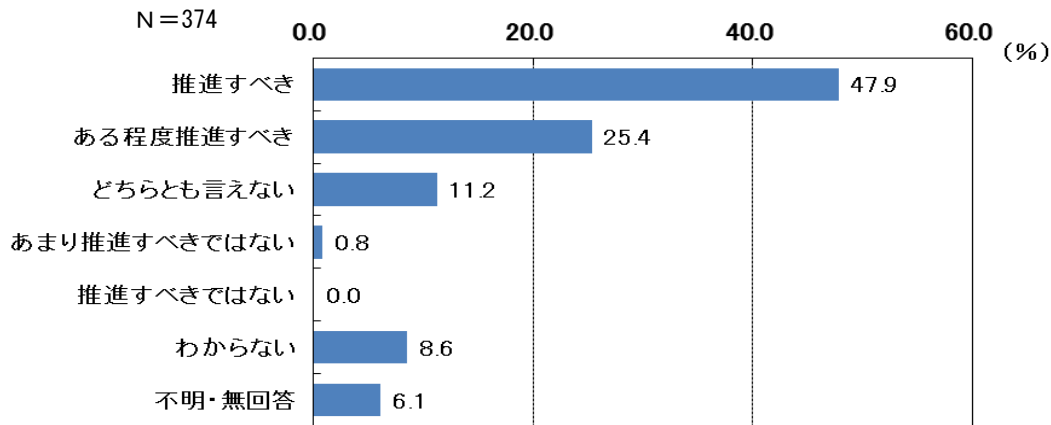
## 問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」では「尾鷲地区」の方が高く、「活動の必要性を感じない」や「人間関係がわずらわしい」では、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



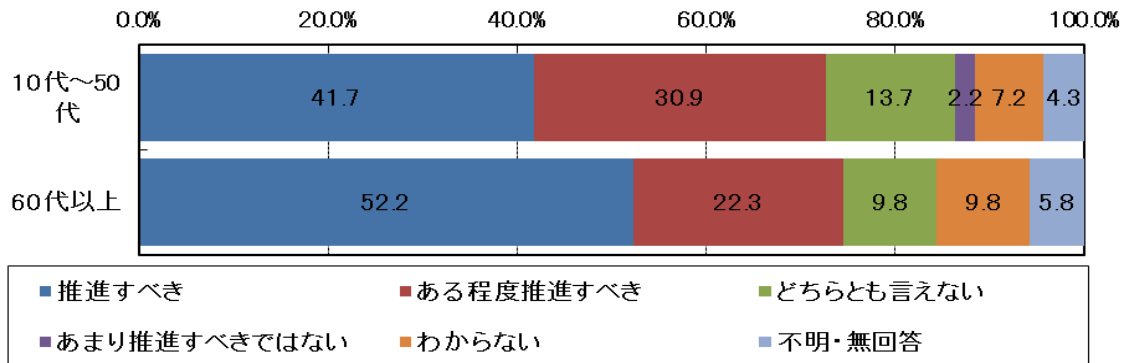
**問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。**

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が47.9%、「ある程度推進すべき」が25.4%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



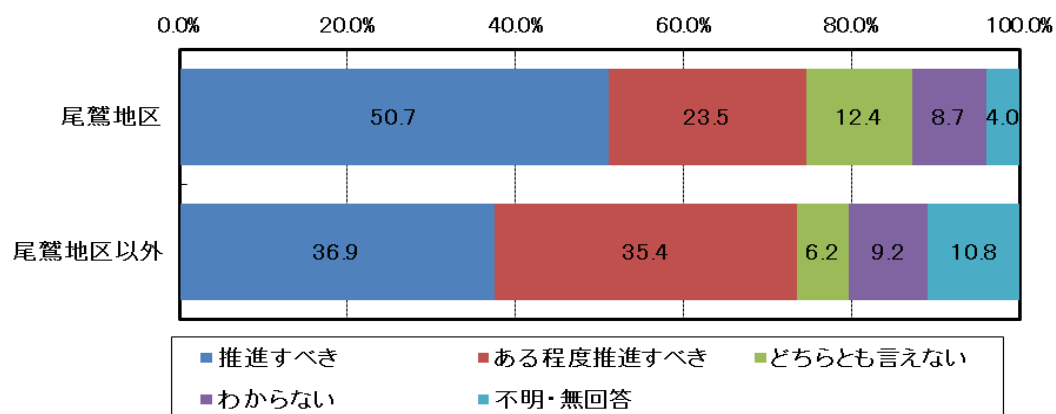
**問 16×年代**

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、「10代～50代」「60代以上」とともに7割以上となっており、「60代以上」が若干高くなっています。



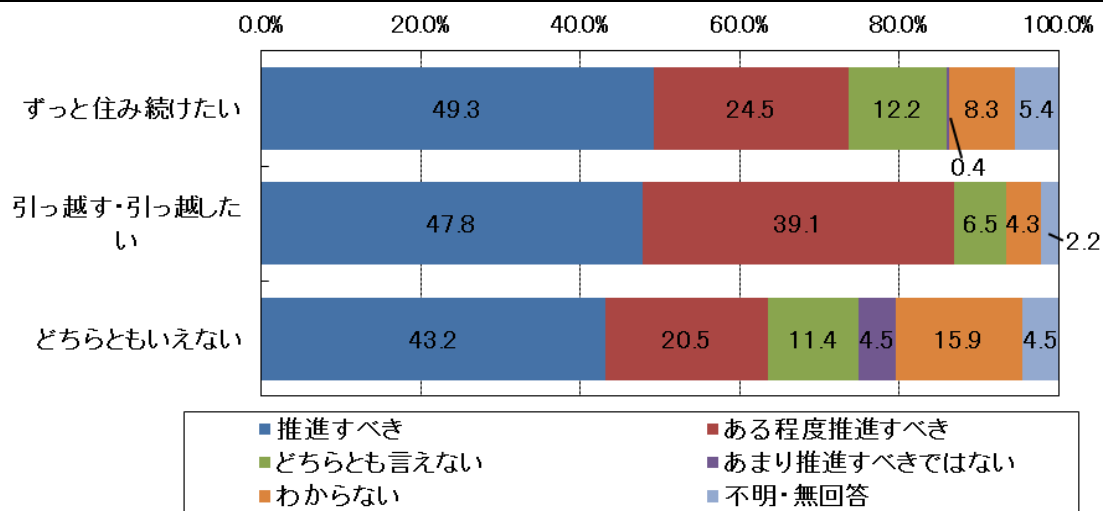
**問 16×地区**

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」では、「尾鷲地区」にお住まいの方のほうが高くなっています。



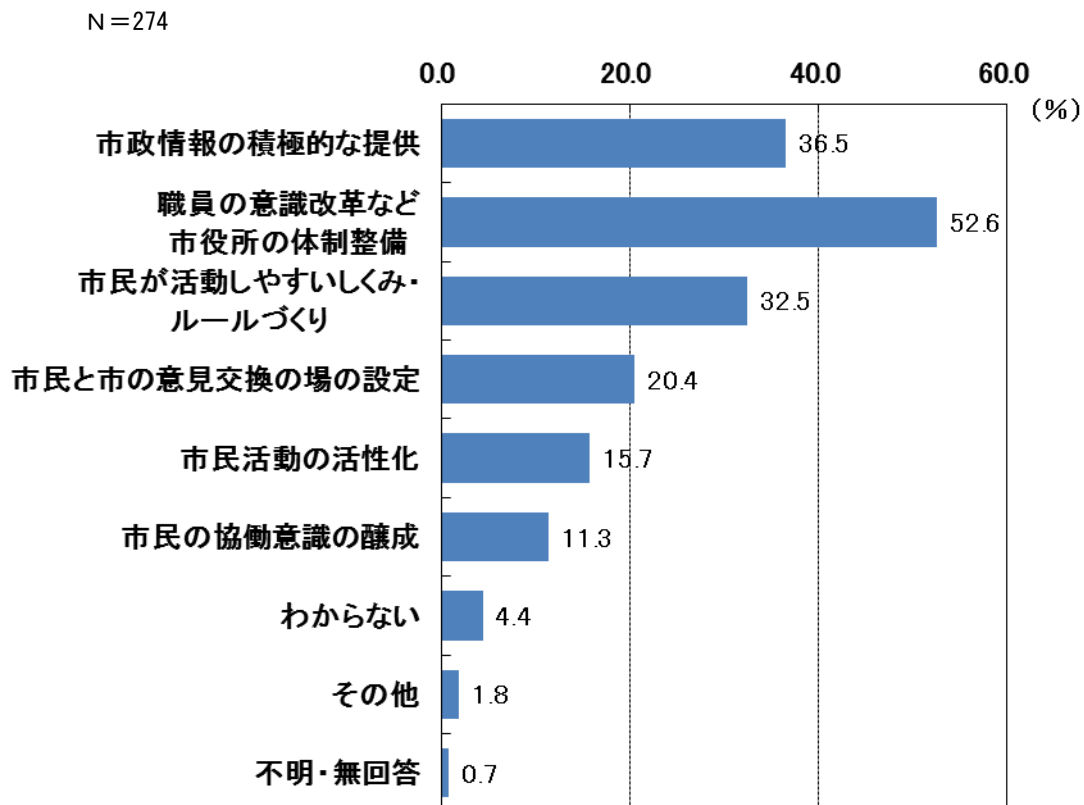
## 問 16×定住意向

市民みなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」では、「ずっと住み続けたい」を選んだ方のほうが若干高くなっています。



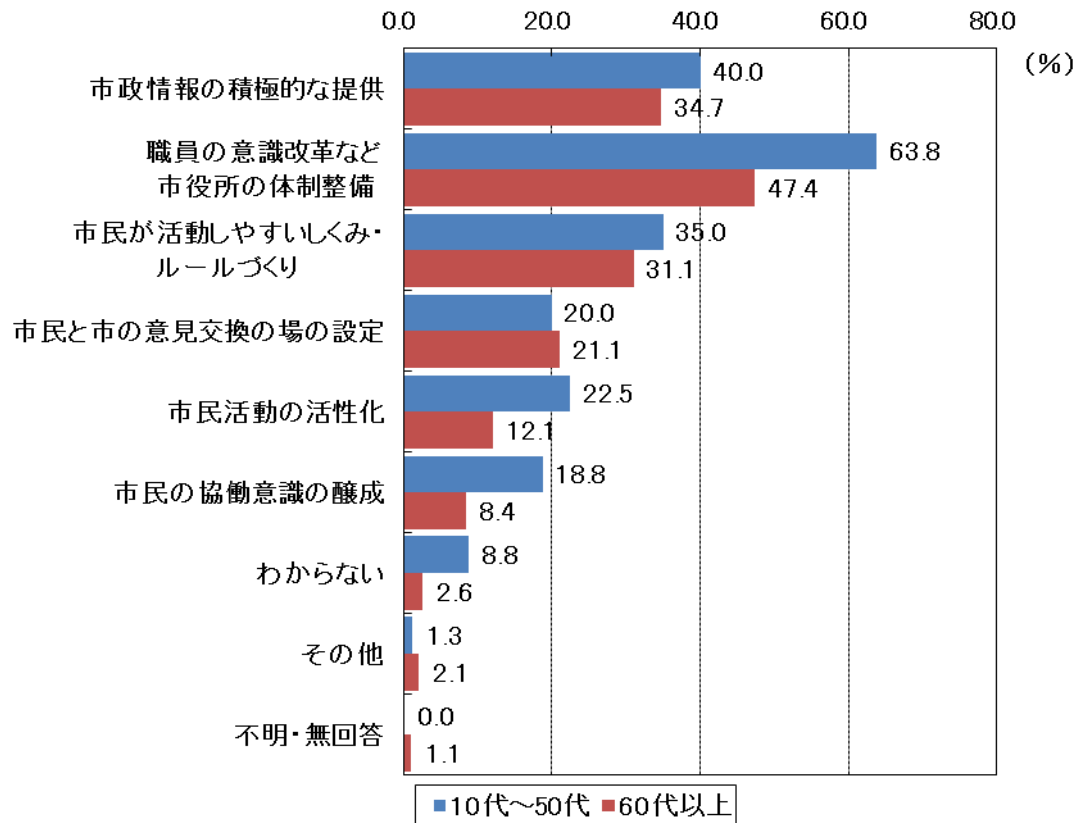
**問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）**

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 52.6%、「市政情報の積極的な提供」が 36.5%となっています。



## 問 17×年代

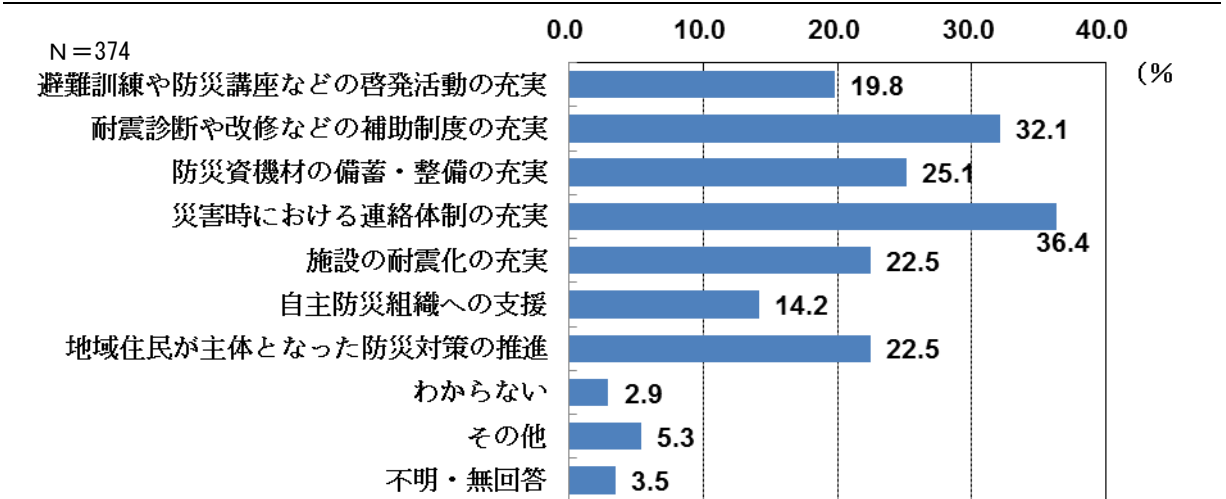
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が各年代とも高くなっています。



**【安全】**

**問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)**

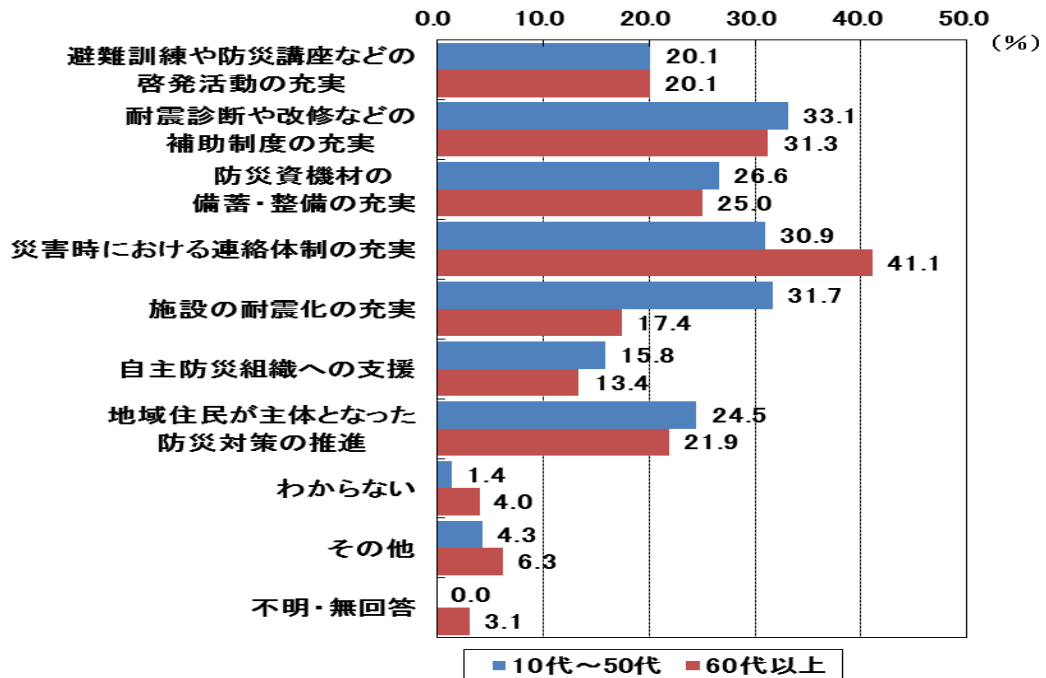
地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「災害時における連絡体制の充実」が 36.4%、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が 32.1%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 25.1%、となっています。



その他	
コミュニティの充実	医療費を気にせず病院に行けるようにしてほしい
地震がおこった時に逃げる為、国道から山側に向けて横断歩道橋を建造してほしい	避難道路の整備
身体の不自由な人の為の充実	ブロック等（避難道路の安全対策）
市の災計画の再構築（現実的でない、具体性が全くない）	現在心配しているのは震度 6 以上の揺の時、我が家は隣近所へ倒れはしないかということです
公共設備の高台への移転	市外に住まいを移す
危険個所の点検及び修理	自治会全体で進められているが自治会が事実上崩積している様に思われる
避難タワーの建設	避難道路の整備（階段よりゆるい坂道へ）
災害に合わない町作り	海岸近くに一日も早く避難塔が必要と思う
診断の補助制度は不要である考えで、考えて補充すべきである	老人家庭の家具の倒壊防止の補助制度を
自主ではなく市民あげての組織であるべきです	市役所の耐震化

## 問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」や「施設の耐震化の充実」では「10～50代」が、「災害時における連絡体制の充実」では「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。

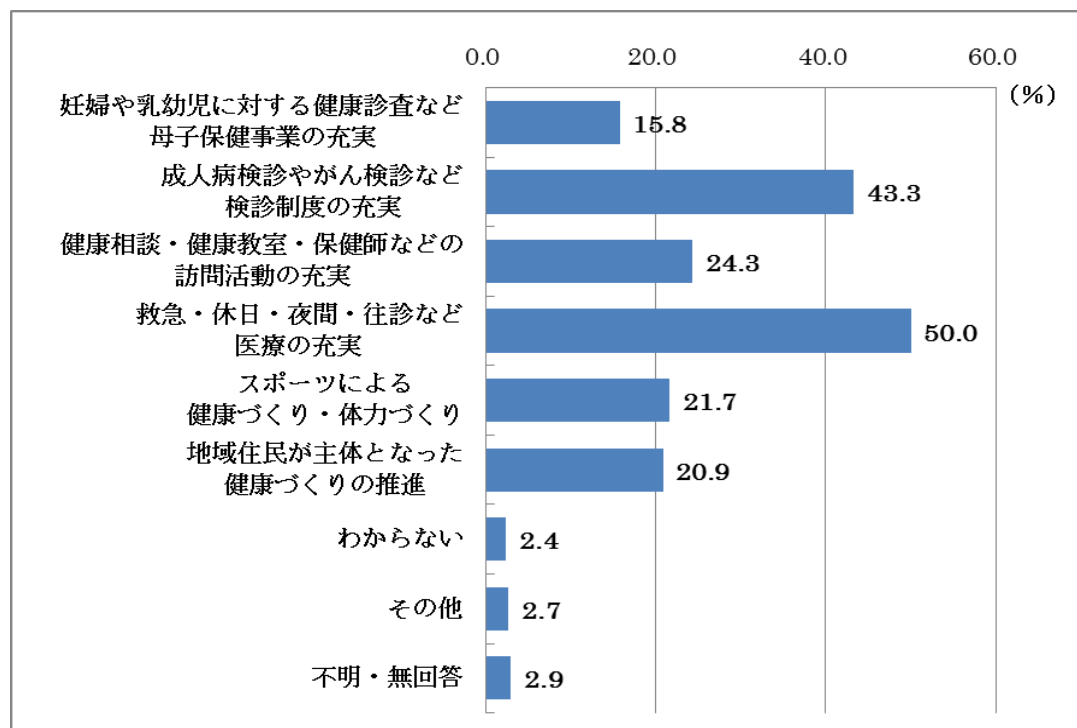


## 【健康づくり】

### 問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が50.0%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が43.3%、「健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実」が24.3%となっています。

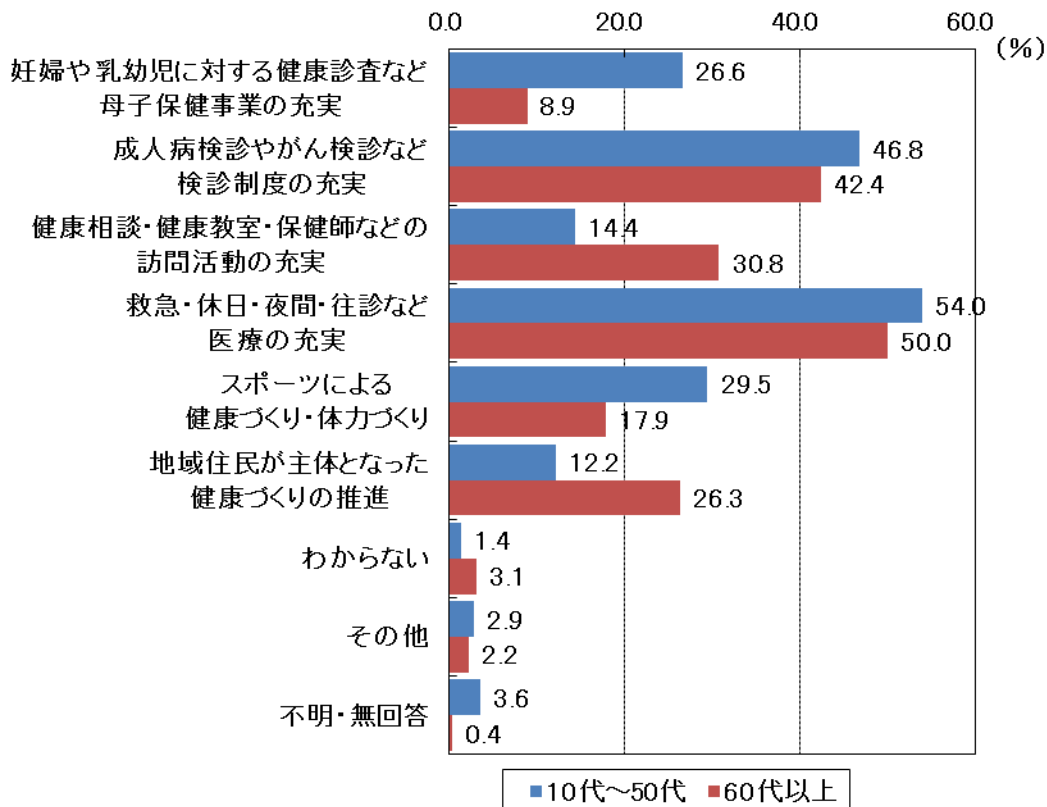
N=374



その他
プール（温水）
社交ダンスを公民館でやって欲しい
健康づくりは自分で行え。あまり公金を頼る事はないように。
①から⑥まで皆必要優劣なし
診断の情報をきめ細やかに行う
スポーツするにも全く施設が無い特に室内プール
保健婦さん達が優しく接してくれます
スポーツジムを誘致する
自分自身の心掛 節制
近縁の推進
隣組を作り

## 問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」や「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」は多少の差はあるものの各年代とも割合が高くなっており、「妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実」や「スポーツによる健康づくり・体力づくり」や「妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実」は「10代～50代」の方の割合が高く、「健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実」や「地域住民が主体となった健康づくりの推進」は「60代以上」の方が高くなっています。



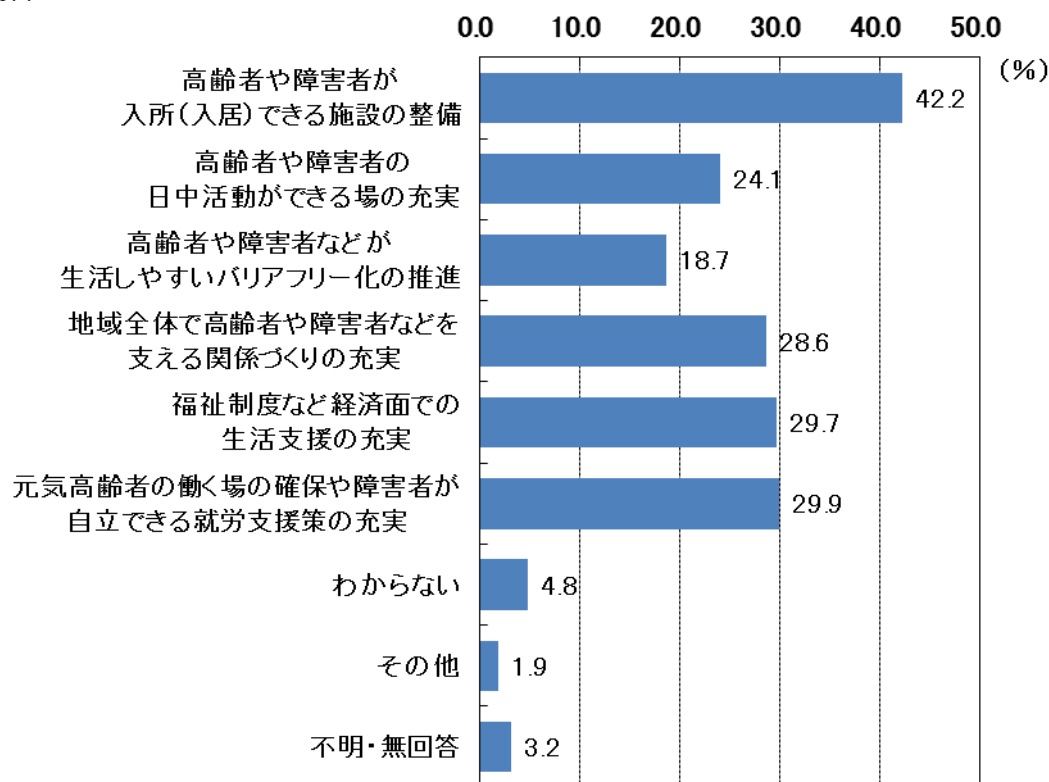


**【福祉】**

**問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)**

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が42.2%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が29.9%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が29.7%となっています。

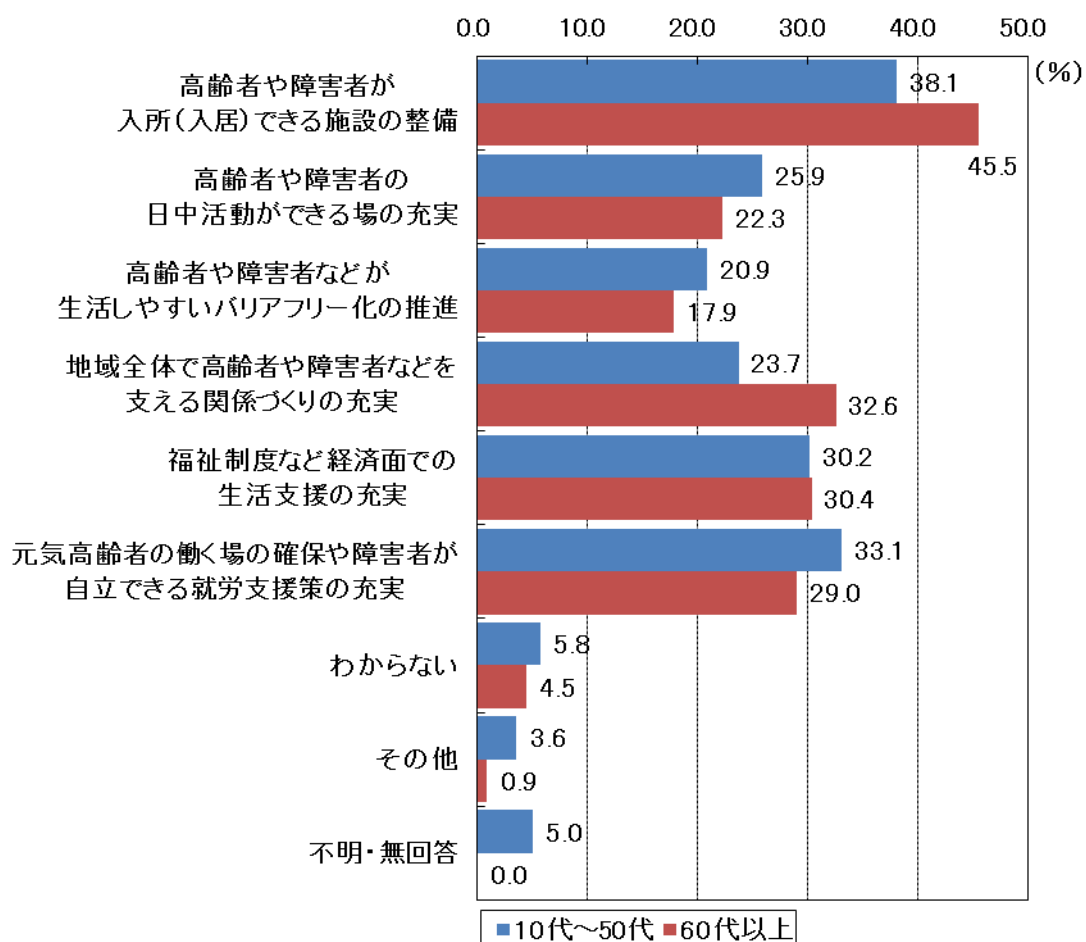
N=374



その他
これ以上必要なし。もっとお金をかけるところが他にあるはず
福祉に従事する者等への教育人材確保等福祉に関係する機関に対し現在尾鷲市にどのような福祉施設があるのか。又その施設はどのような方が利用できるのかを把握して頂けるような研修等を積極的におこなってほしい
福祉福祉と余分な事は止めたほうがよい。自己自立の指導活動を推進する
児童福祉
これ以上高齢者に力を入れる必要はない。子供だけで良い
低所得者（高齢者「60才～73才」）の就労支援
高齢者・障害者の前に現役世代に対する福祉の充実を

## 問 20×年代

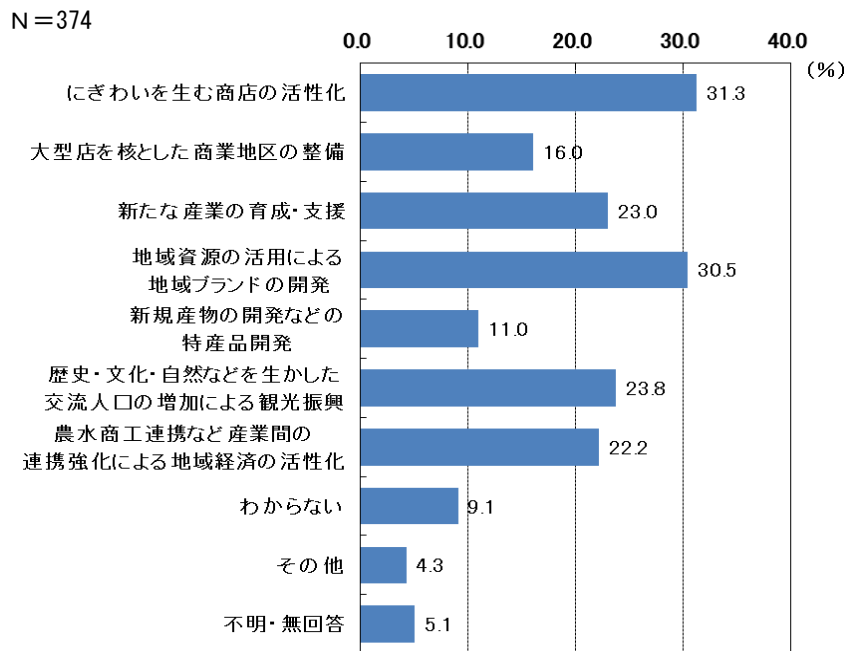
福祉の充実策を年代別に見ると、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」や「高齢者や障害者の日中活動ができる場の充実」などでは「10代～50代」の方が高く、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」や「地域全体で高齢者や障害者などを支える関係作りの充実」では「60代以上」の方の割合が高く、年代による差が見られます。



**【産業振興】**

**問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)**

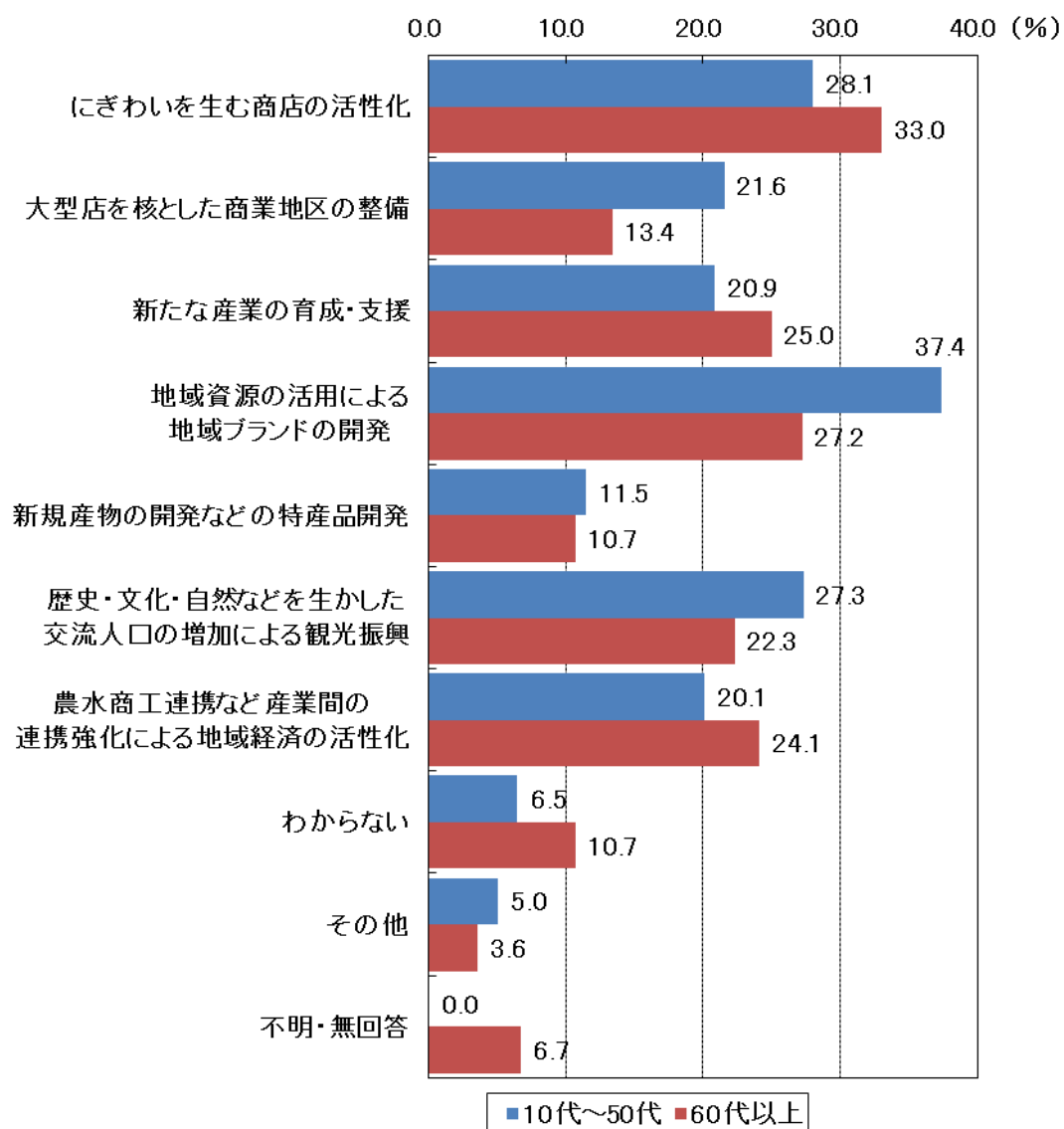
産業振興・活性化策として、「にぎわいを生む商店の活性化」が31.3%、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が30.5%、「歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興」が23.8%となっています。



その他
内ではなく外に目を向けるべき
企業の誘致のみ（中部電力の恩恵大）首長の意識変える
中電、東邦に代わる事。あの土地がもったいない
産業開発のための資金的支援が大切
個人にも経済的支援の対象とする
一次産品、特産品の飲食販売拠点
減少高齢化の当市では上記の考えは無理だ。人口を増やす政策を打ち出すべきでは
既存産業の充実に向けた政策
地元水産物を販売する大型店
公共工事を増やす就業人口をみなさい
人材育成！各産業の営業力。プレゼン力等！
死ぬるまで農業を続けたいが一時期の力の仕事だけが忙しいので助けてほしい
民泊等個人でも手軽に出来ることを宣伝なり市のホームページでのアピール。
働く場所が欲しい

## 問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」や「歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興」などでは「10代～50代」の割合が高く、「にぎわいを生む商店の活性化」や「新たな産業の育成・支援」では「60代以上」が高くなっており、年代による差が見られます。

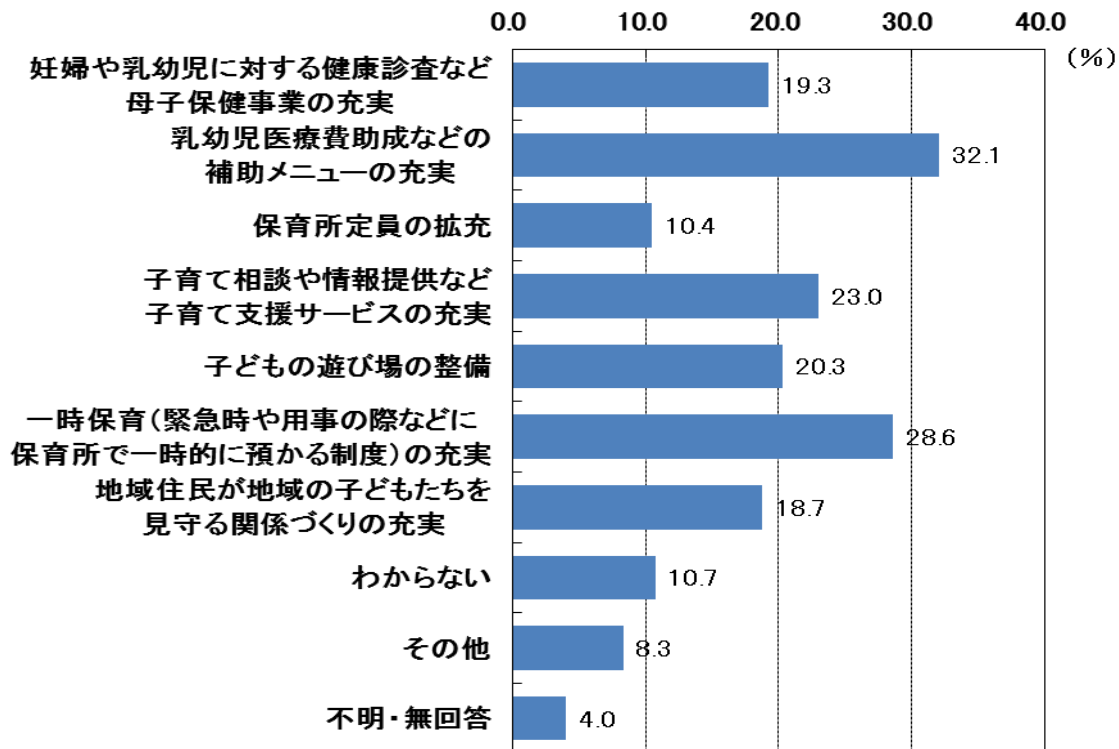


**【子育て環境】**

**問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)**

少子化への対応として、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が 32.1%、「一時保育の充実」が 28.6%、「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」が 23.0% となっています。

N=374

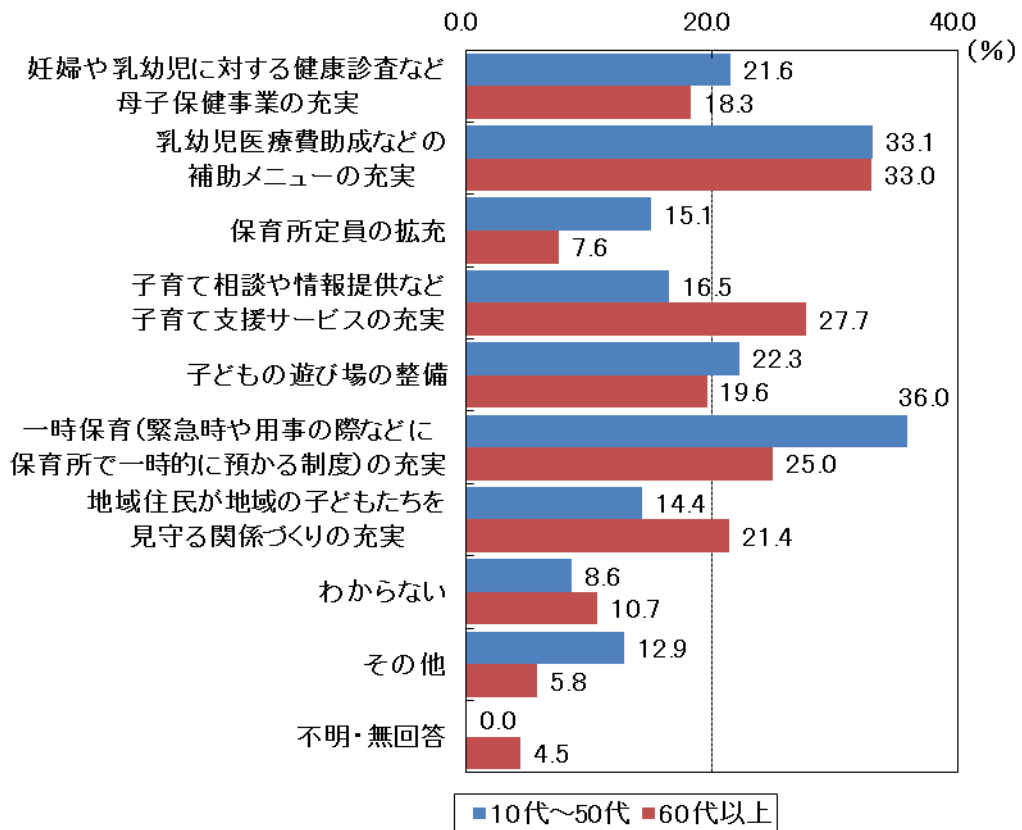


その他
働く場所の確保.魅力のある市にする
(1~7 は当たり前) 先ず人口を増やす事
奨学金の充実
晩婚化の原因もあると思うので出会いの場を協力して
子供がいる家庭への支援
仕事があれば人口が増える子供増える
若者の職場作りが大切→若者人口の増加→子供の増加
親が経済的に豊かになる組織づくり
働く場所の確保による若者の定住
中学まで医療費無料や高校の授業料無料など
金銭的補助
若者の定住化を進める
母親の働きやすい雇用の確保

まず若い人がすみやすい町作りが必要。就職先を増やさないと若い人が住まない
病気などでどうしても仕事が休めない時子供を安全に見てくれる所など
子育ては親がすべき猫犬熊等あらゆる動物でも一人前になる迄大事に育てているではないか
結婚する人を増やす
教育費を軽減できるような制度の充実
高老人の一人暮らし縁がない
幼稚園の3年保育推進
保育士の給料アップ給料が安くては保育士のなり手が居なくなる
地域内の職種の少なさにより都市部へ移動される人が多いので地域内に留まるメリットが有るような職種や福祉施設の充実が必要だと感じます
子育て世代が居ない！町離れを防ぐ事が先決かと！
2に関係するが対象の幅を広げて欲しいせめて中学生まで
若い世代が尾鷲で生活したいと思うまちづくり
若い夫婦の仕事場の拡大.充実
若い人の働く場所がないことがだめ。とにかく人があつまる働く所があるということが第一だ。
子供が居ない為
現役世代の就労の場が少ないことが問題。また賃金が安く子供が育てられない
若者が帰って来ることが出来るよう就職の充実

## 問 22×年代

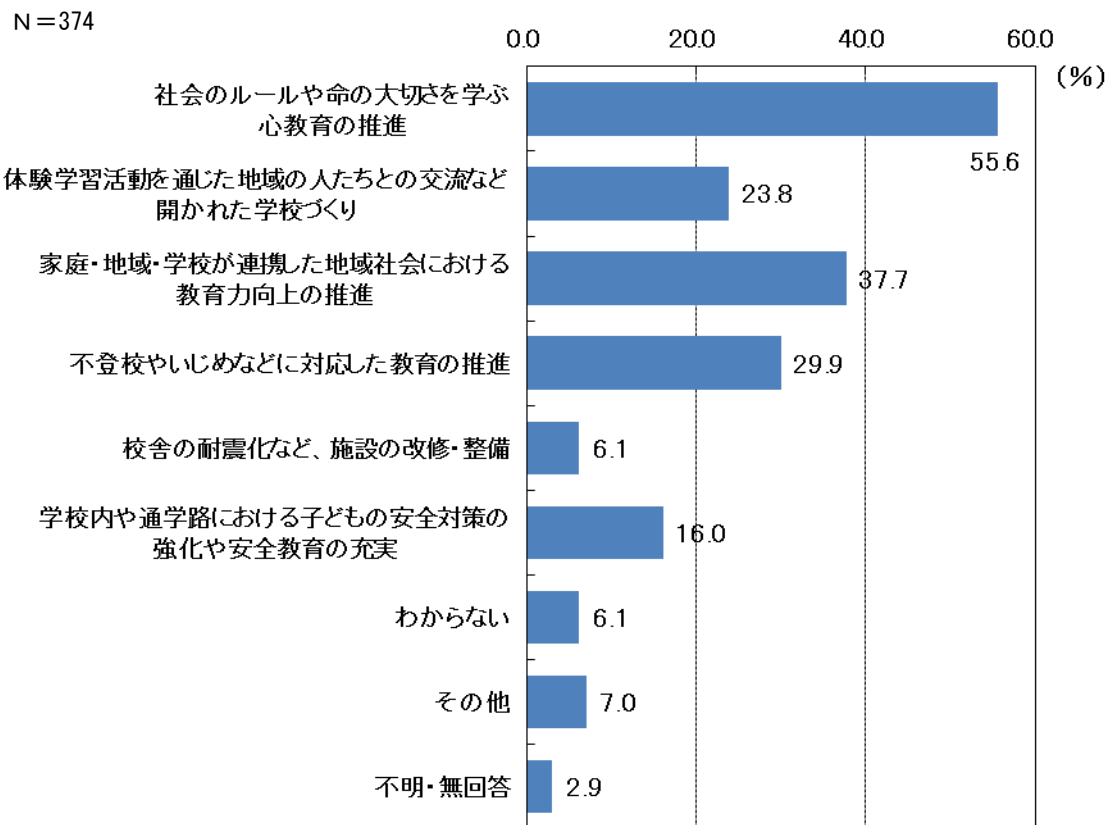
少子化への対応を年代別に見ると、「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」や「子どもの遊び場の整備」などでは、「10代～50代」の方の割合が高く、「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」や「地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実」では「60代以上」が高く、年代による差が見られます。



**【学校教育】**

**問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)**

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が 55.6%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 37.7%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 29.9%となっています。



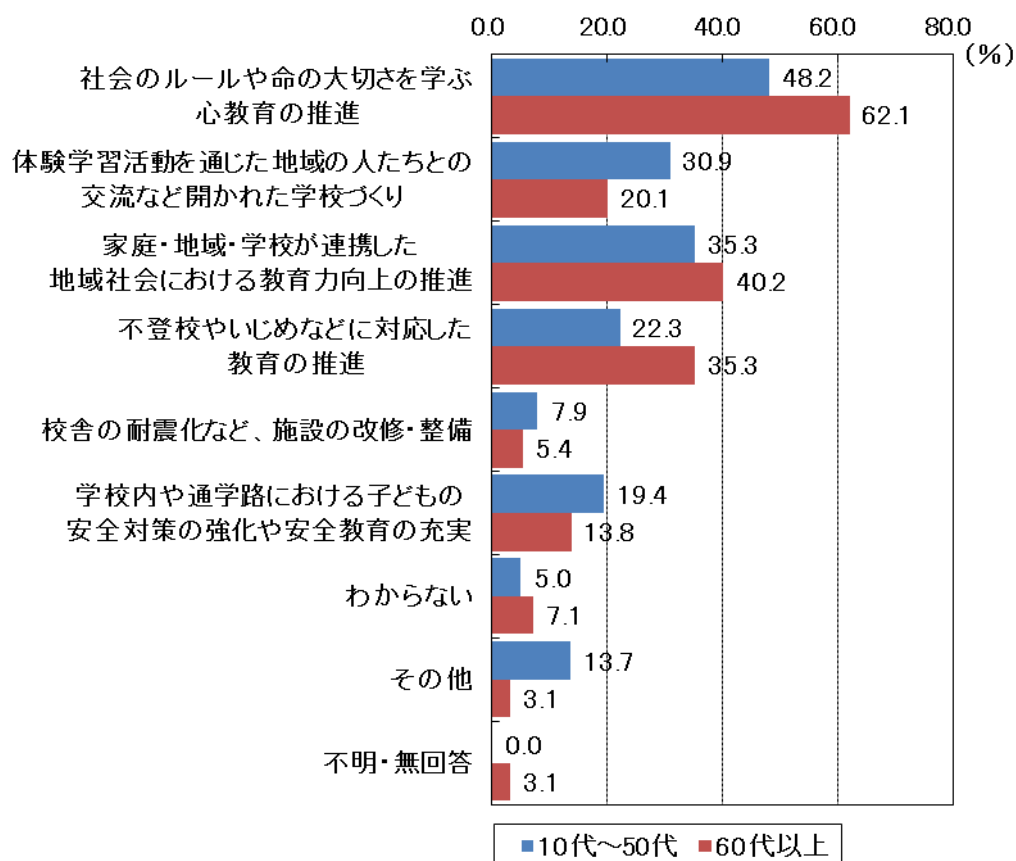
その他
外部からの招聴(教育者)
まずは家庭のしつけこれを周知することから始める
統合
教育委員会が子供達にふさわしい先生を尾鷲市に連れてくる。子供が勉強遅れていたら放課後や夏休みに残って教えてあげて欲しい(先生は忙しくて時間が無いらしいので)昔に先生みたいに熱心な先生が少なくなったので塾に行けない子供達にコミュニティセンターなど元教師だったOBに助けてもらい勉強を教えてもらう。月に2~3回でも学校の教師だけに頼っていけない部分も多いので市が取組尾鷲市の子供の為に もっと教育に力を入れてあげて欲しい
部活がしやすい施設
教師の積の向上→人間育成教員の労働環境を改善し教育の再教育を行う



教育予算の拡充.子供(未来)への投資と考え学校予算の拡大や教職員の研修費の増額子供の教育費に関わる補助など教育予算を拡充すべきだと考える。もちろん少人数教育やその地域に応じた教育を推進するための施設設備の整備などのハード面と教員の人材確保や介助員の増員など学校現場の現状に応じた対応が必要であるとする
他の市町村で取り入れている教育方法も積極的に取り入れていくべき。尾鷲は学校が少ないので閉鎖的にならない様
まず教師を教育しろ
問 28 の 9 の 推 進.学校の中で積極的に行う
道徳教育に尽きると思います。子供だけでなく教育者自身も同様共に教育を受けていって欲しい。ここがスタートではないと思います
校内の防犯カメラ設置等
小中での「ICT」を有効適切に推進する
尾鷲の人は山に囲まれているせいか物の考え方も視野も狭い。世界を意識した幅広い教育をしてほしい。言葉だけではなく色々な国々の事や価値観生活スタイルなど普通に暮らしているだけでは出会えない世界を教えてあげて欲しい
輪内中を建て直したが小学校で中学校も利用するような体制にしてお金を使わない様にして経済をもっと考えてほしかったと思う
尾鷲の教育ビジョンがわからない
教師の数を増やす等教育の充実の為にはある程度の支出が不可欠！！
子供の貧困が問題になっているので小.中学校の給食費をただにし他都市との差別化を計り子供が例え給食目当でも皆登校したく思える様な又若い人達が住みたい町にする
学力低下が見られる昨今.教育時間（学校）を増やすべき
教育勅語と修身復活せよ
S.40 年の子供時は尾鷲小学校で、1800 人以上いたことばかり思う
学力の低下。中学.高校から他所へ行って学ばなければ、難関大国公立に入れな程の学力レベル
年中、保護者や地域の方が授業を見れるようにする。
教師の生徒に対するやる気を上げる

## 問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、各年代とも「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」や「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が上位となっており、「10代～50代」では「体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり」、「60代以上」では「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」の割合が高く、年代による差が見られます。

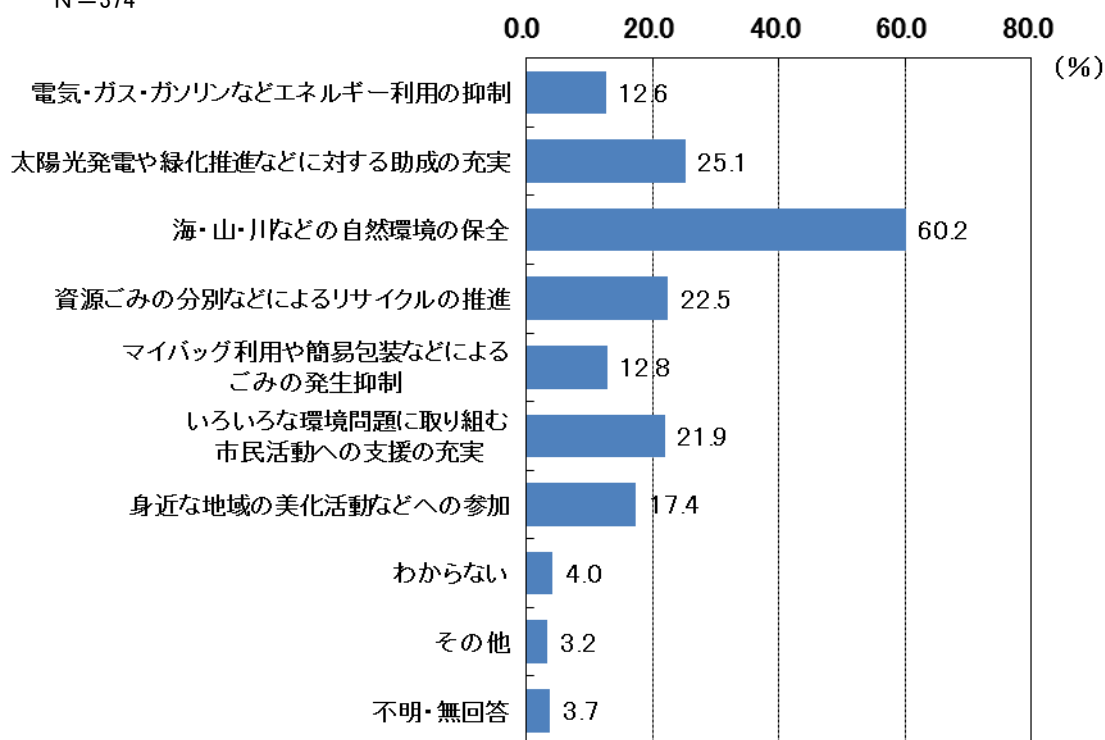


**【環境】**

**問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(複数回答)**

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が60.2%、「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」が25.1%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が22.5%となっています。

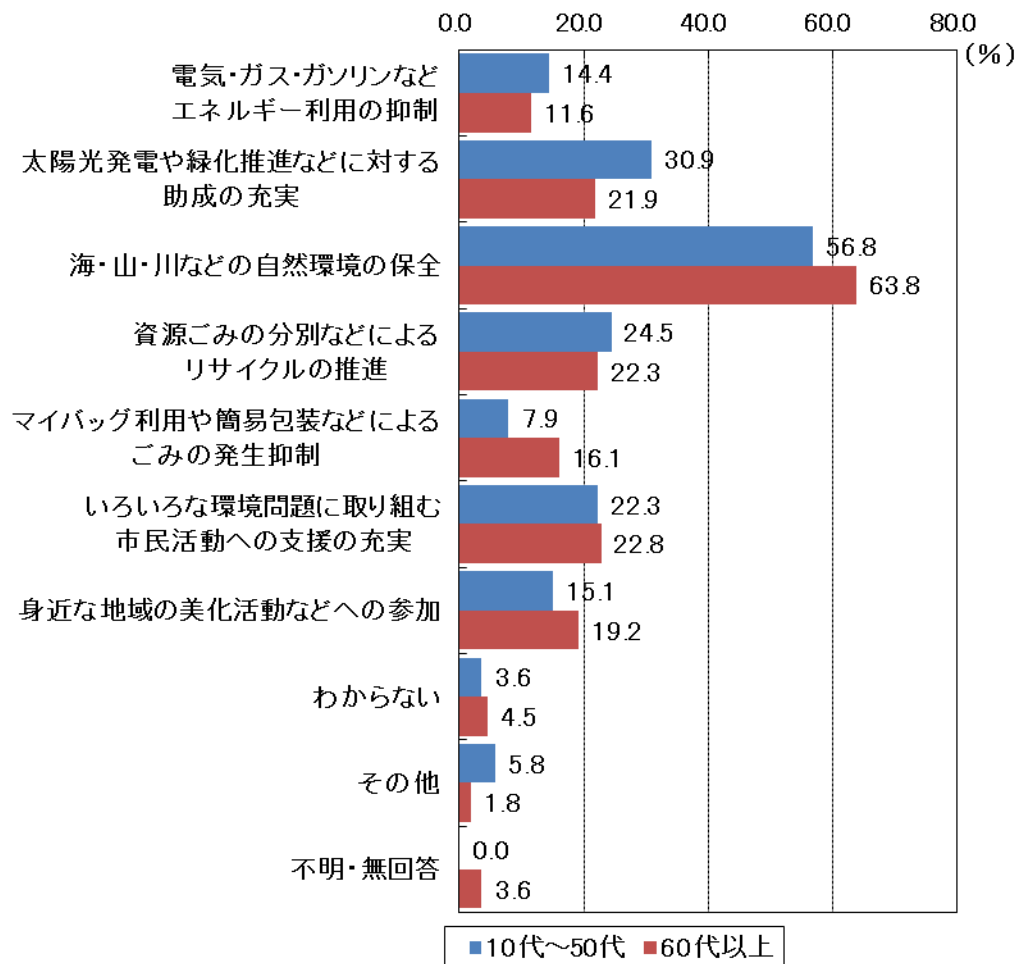
N=374



その他
基本的なマナー向上
今で十分
ゴミ袋が高い自由にして欲しいエコになってないと思う
山林の育成と従事者の育成及び林道の整備
家庭から出る廃油（てんぷら油）を回収してリサイクルしガソリンにするというリサイクル法をTVで見たことがある。そのような先進的な環境の取組も一度視野に入れて欲しい
別に問題は無いかと
採石等の経済活動で漁業環境が破壊されているのでは
原子力発電を早く線働させよ
資源ゴミの分別についての現程集の配布
自然エネルギーで発電している事業者から電力を買う
農水林（推進）援助→第一次産業の人に！！特に田畑が減っているので。学力向上→やる気を出せば！！

## 問 24×年代

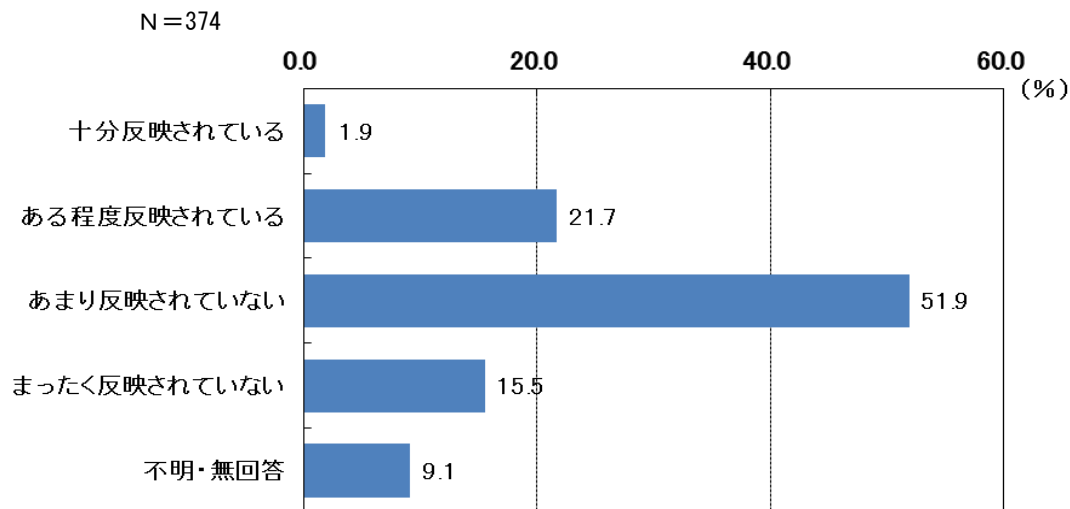
環境を良くする方策としては各年代ともに「海・山・川などの自然環境の保全」が最も高くなっており、「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」や「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」では「10代～50代」の割合が、「いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実」や「身近な地域の美化活動などへの参加」では「60代以上」の割合が高くなっています。



## 【市民意見の反映】

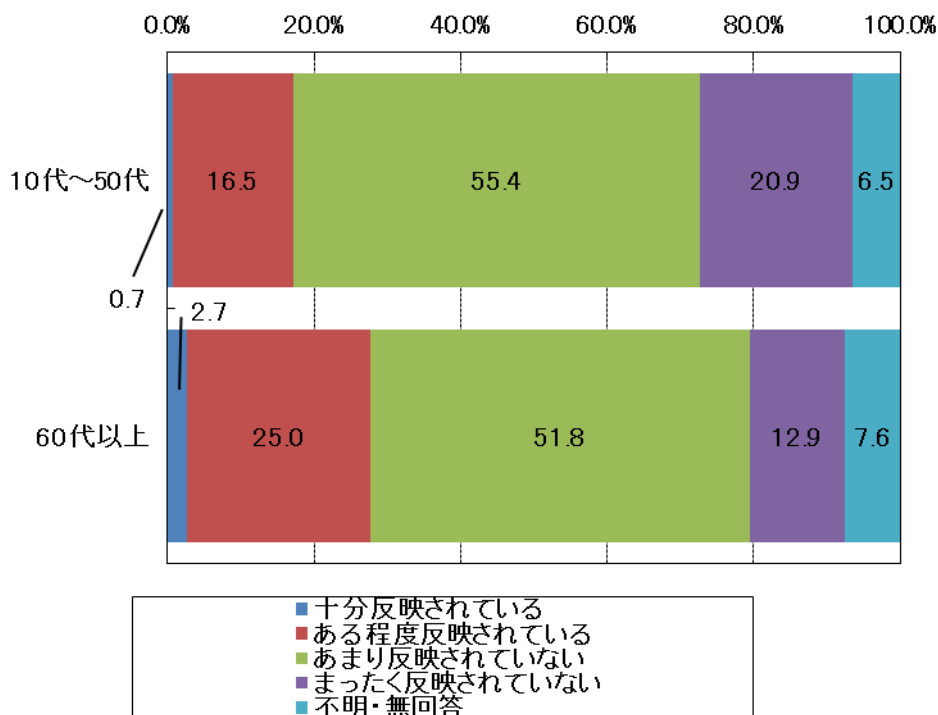
### 問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が51.9%、「まったく反映されていない」が15.5%と、合計で6割以上が「反映されていない」と回答しています。



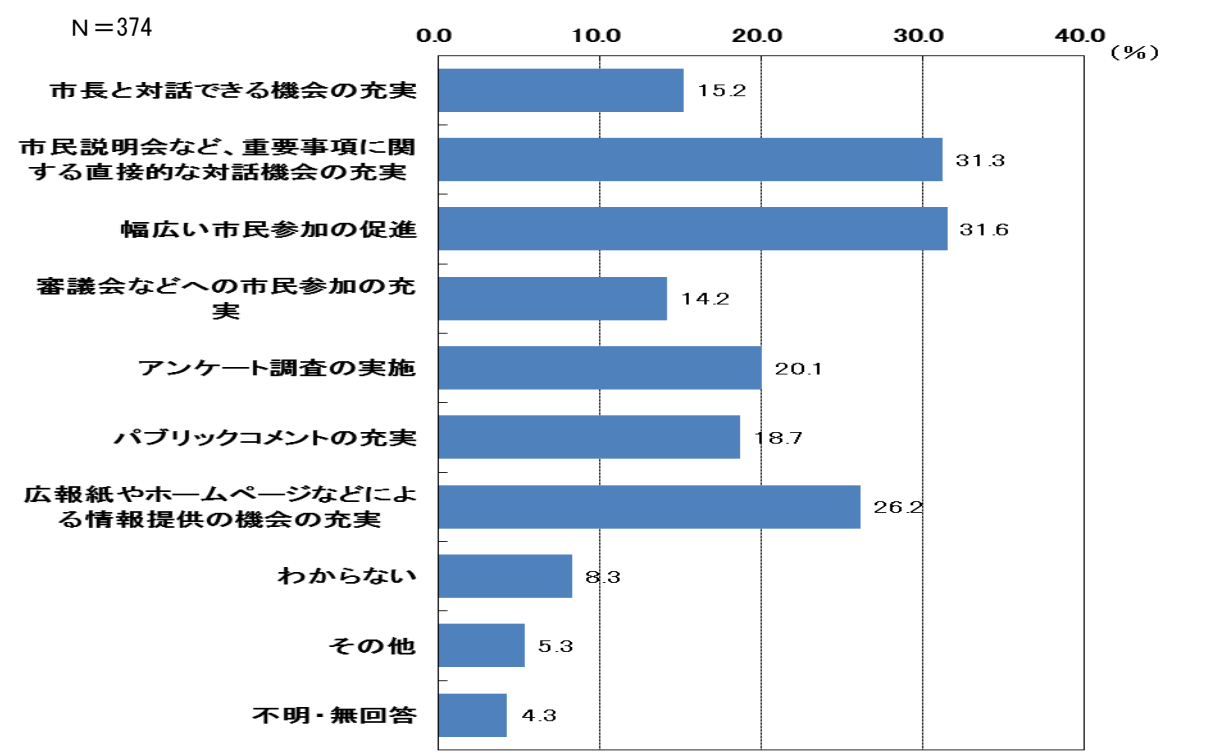
### 問 25×年代

市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では7割以上、「60代以上」では約6割となっています。



**問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)**

市民意向を市政に反映させる方策として、「幅広い市民参加の促進」が31.6%、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対応機会の充実」が31.3%、「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が26.2%となっています。

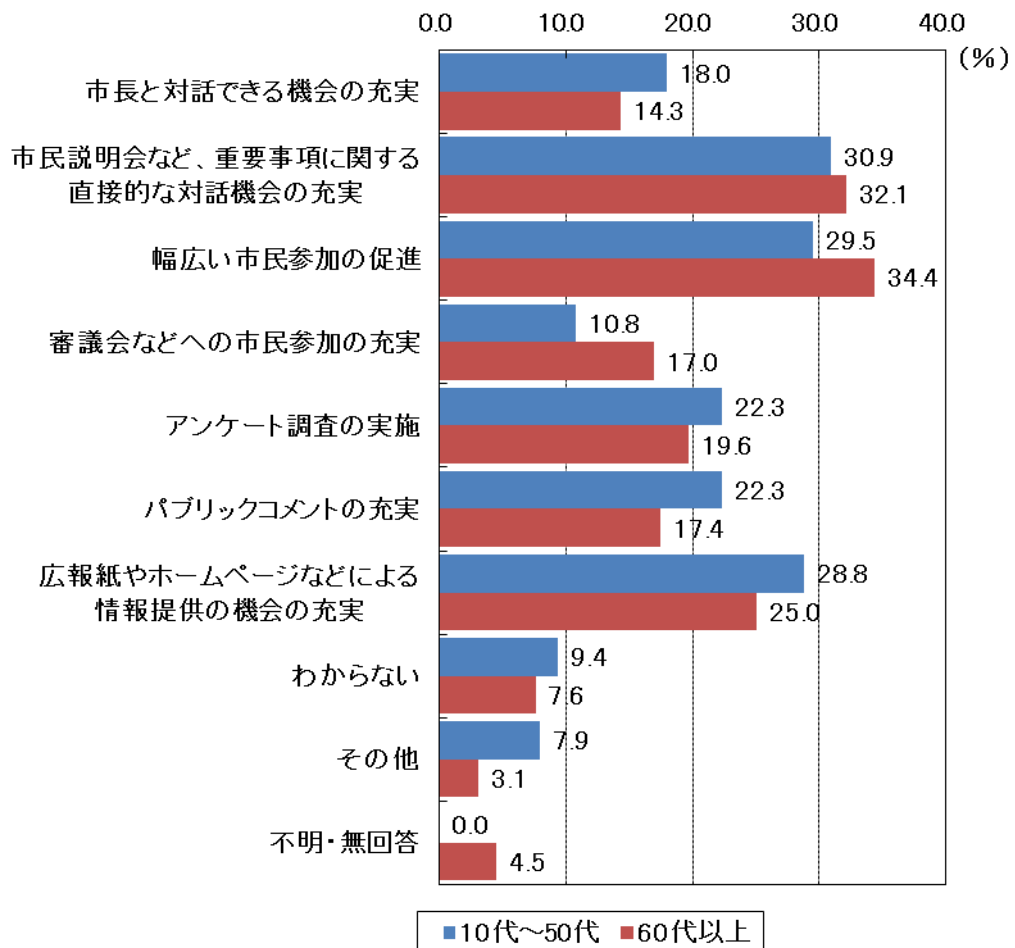


その他
一部の声高の方達の見解が良く通りますね
首長市職員が意識を変える、民間企業で研修体験するべき。市役所の窓口の人が今のような口調対応では市役所に行きたくない今すぐ何とかしてほしい。ひどい。
議会議員と市民との密機関係の充実
市長と対話出来る充実としても尾鷲市民は参加しないで文句が多い
市民の声は充分届いているが、それが全然反映されない聞きっぱなしある。市民の声を反映させるための実行組織を充実させ実現できる体制を作る必要がある他人の意見を聞くだけでなく自ら考える職員の集合にしなければ進歩が無い
要望しても聞き入れてもらえない市議会が閉ざされている市の市議会がいけない。市民の声と言っても偉そうな議員ばかりで意見を言える雰囲気がない。意見を言うと「出る杭は打たれる」かのごとくたたかれる。保身の為に権力剥がさず議員に意見は反映しにくい市民の立場に立てる議員をえらばないといけない
見やすく改善してほしい情報が探しにくい
市政に関わる人は自分の意見を頑固に押し通すだけで無く、広く市民の意見に耳を傾けるべきだと思います。特に市長！！自分に近い一部の人だけの考えを聞いて市民の声だと勘違いしな

いで欲しい。視野を広げ幅広く市民の声を聞く事が必要だと思います
市の掲げる各種委員会委員などは特殊なものは別としても、再任などの固定化は避けて新しい人に理解を深めてもらい、新しい意見を出して頂くようにしてはどうか※万年委員と思われるような仕組みは避けて頂いてはどうでしょう
各種団体の横のつながりを強化する
市会議員の能力に尽きる
今の市の体制には言っても無駄
問 25 同様在住 1 年未満では
市民個々に至っては意見を述べるにしても建設的な市民の意見は納得できますが、時によっては自己中心的な面もありますのでどうでしょうか
市民行事のSNSを使った発信（リアルタイムで）
うるさい人の意見を聞かないように、訳の分からない議員に負けない市政
市長、市議をもっと身近に感じるような何か
市長と議会の中が悪く対話できる体制となっていない。
パブリックコメントを募集しているなら、其のことの周知
挨拶運動を市職員が率先して推進。若者さんの挨拶運動

## 問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」や「アンケート調査の実施」、「パブリックコメントの充実」の割合が高く、「60代以上」では「幅広い市民参加の促進」や「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」、「審議会などへの市民参加の充実」の割合が高くなっており、年代による差が若干見られます。

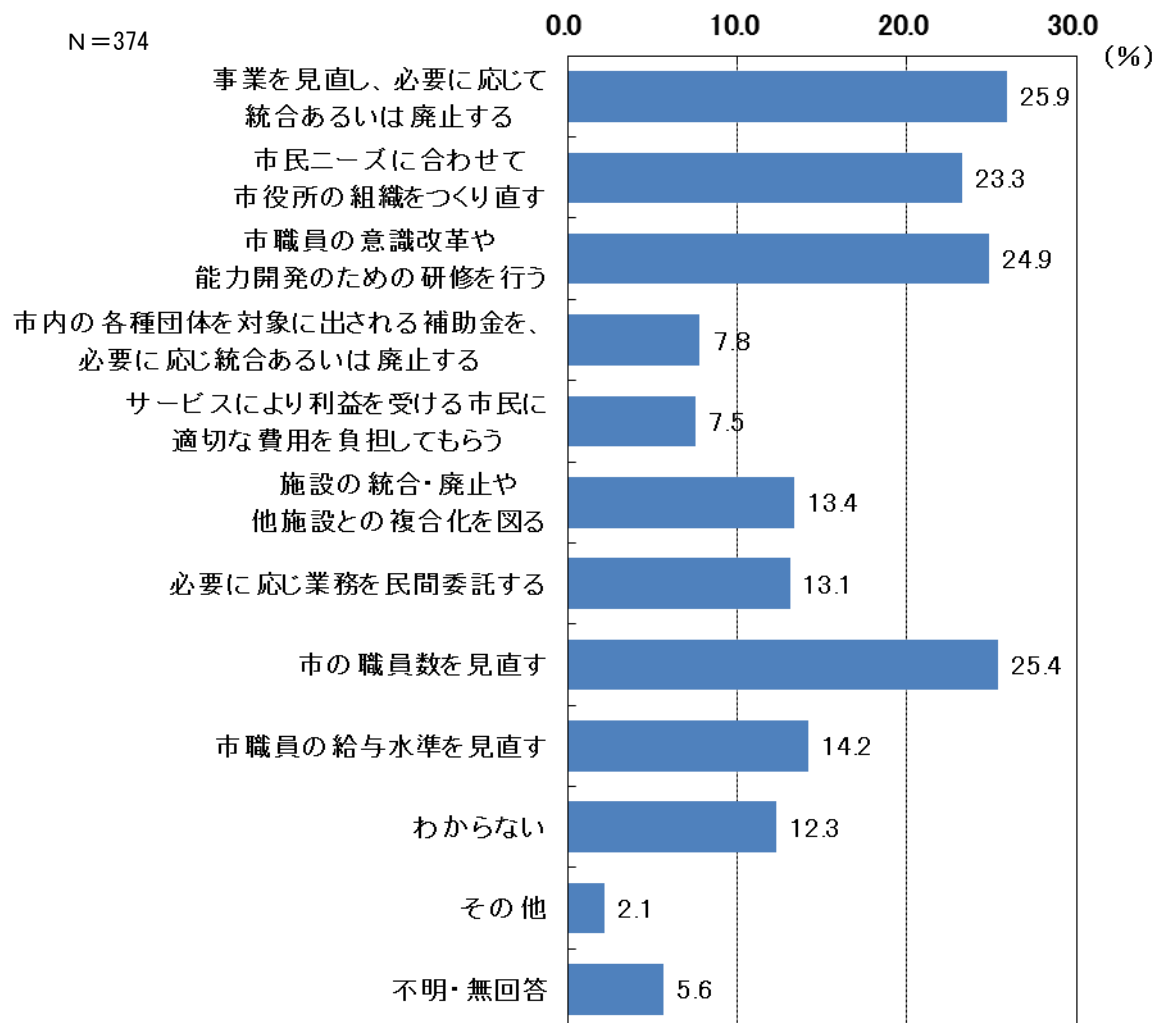




## 【行政改革】

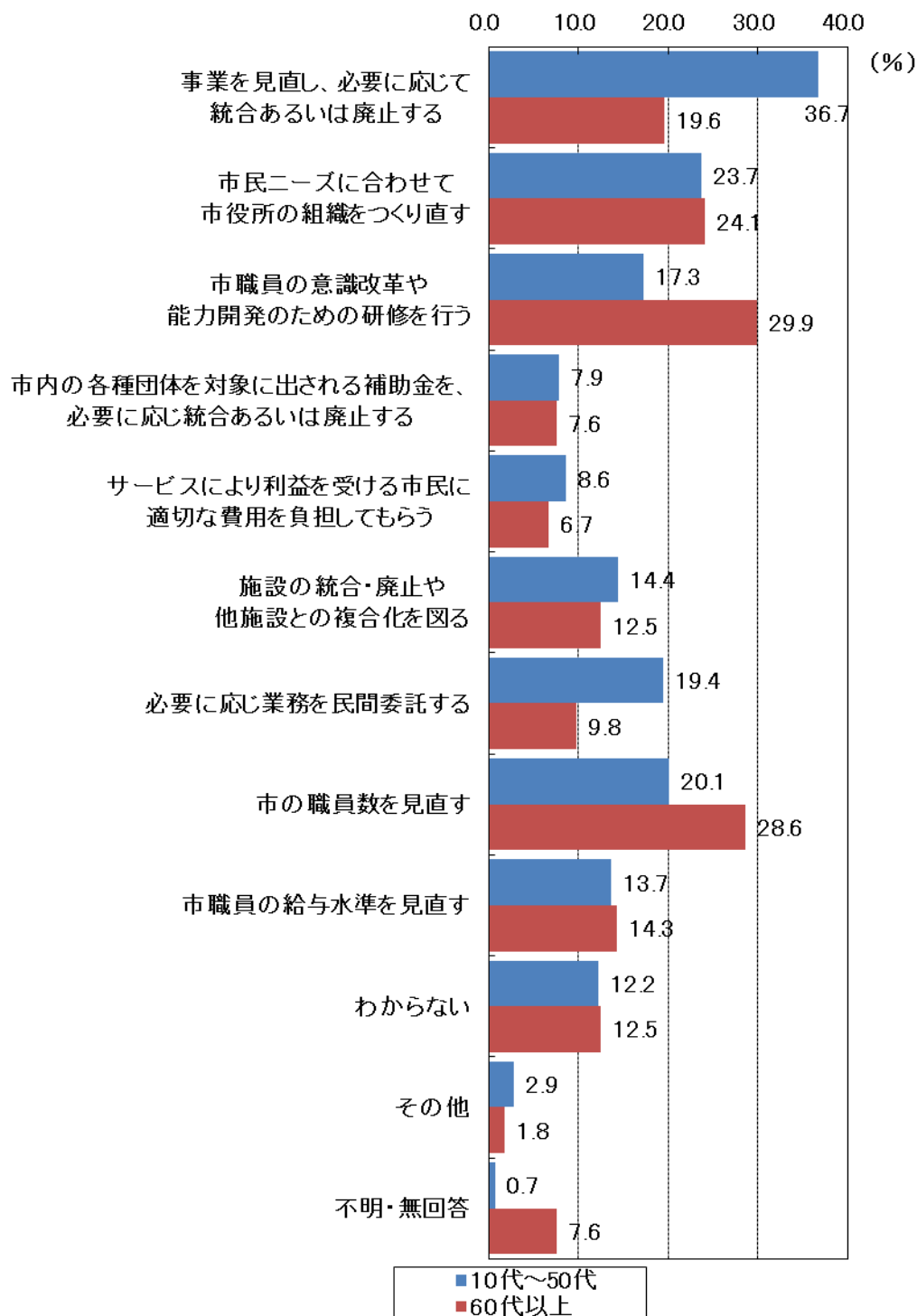
### 問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止」が25.9%、「市の職員数を見直す」が25.4%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が24.9%となっています。



## 問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」では「10代～50代」が、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」や「市の職員数を見直す」などでは「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。



## 4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

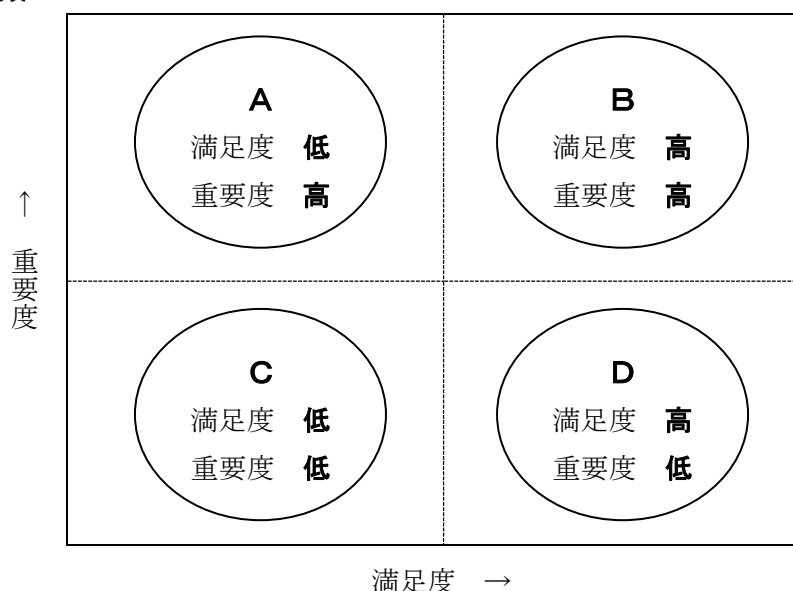
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 24 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

### ■結果の分類



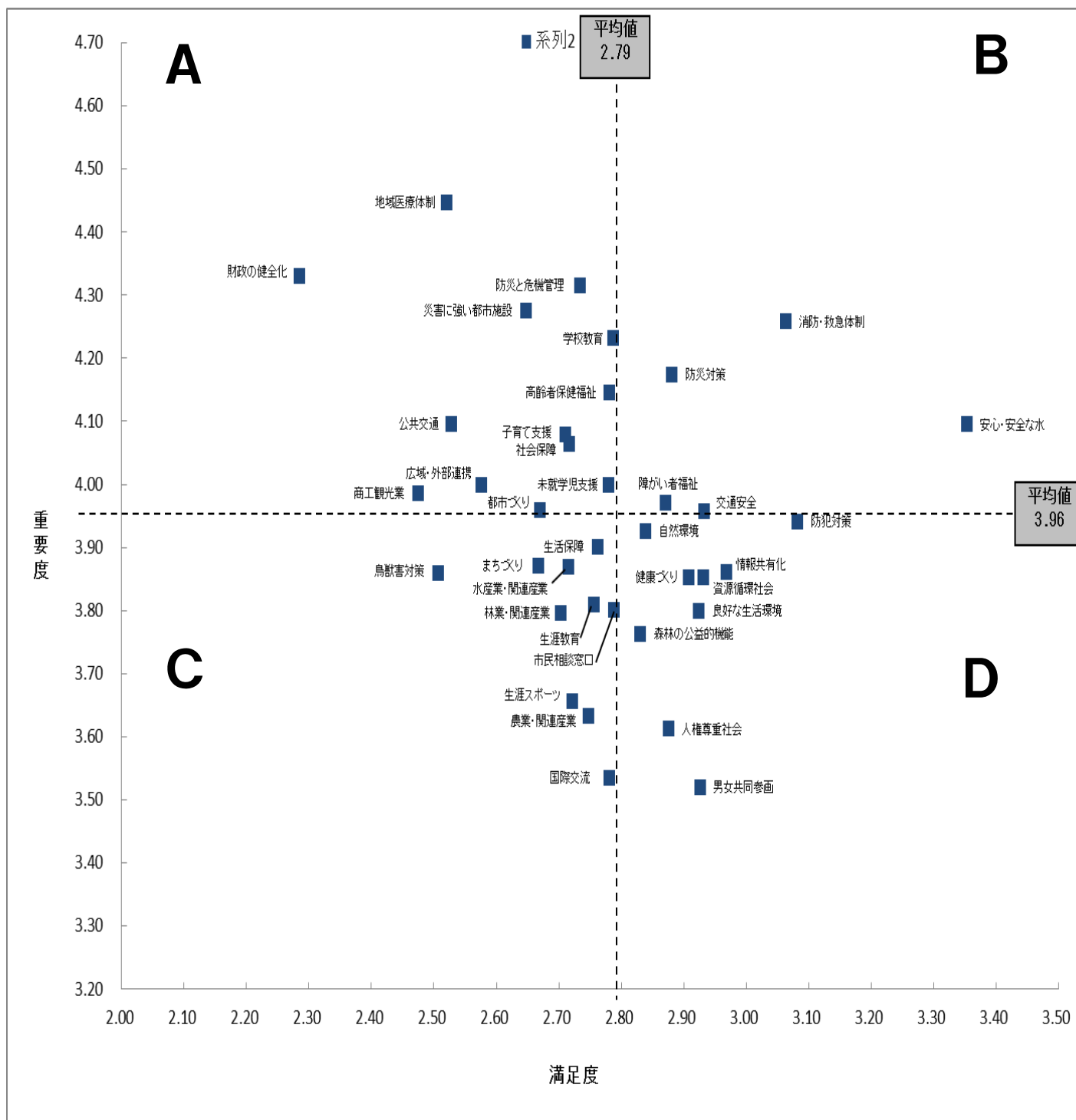
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 24 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

## ■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「災害に強い都市施設」「財政の健全化」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「人権尊重社会」「男女共同参画」「情報共有化」などがDの領域に分類されています。



■満足度・重要度一覧

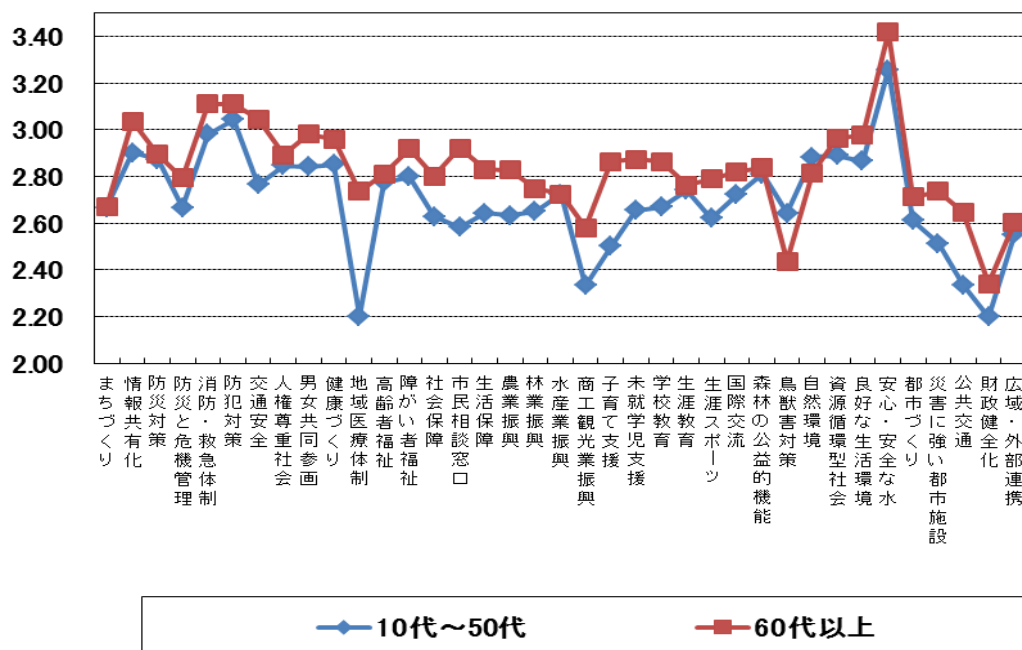
	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.67	3.87
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.97	3.86
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.88	4.17
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.73	4.32
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.06	4.26
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じることはない安全で安心な取り組みなど	3.08	3.94
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.93	3.96
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.88	3.61
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.93	3.52
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.91	3.85
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.52	4.45
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.78	4.15
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.87	3.97
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.72	4.06
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.79	3.80
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.76	3.90
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.75	3.63
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.70	3.80
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.72	3.87
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.47	3.99
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.71	4.08
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.78	4.00
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.79	4.23
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.76	3.81
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.72	3.66
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.78	3.54
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.83	3.76

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.51	3.86
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.84	3.93
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再利用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.93	3.85
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.92	3.80
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.35	4.09
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.67	3.96
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.65	4.28
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.53	4.10
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.28	4.33
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.58	4.00
平均	2.79	3.96

## ■満足度×年代

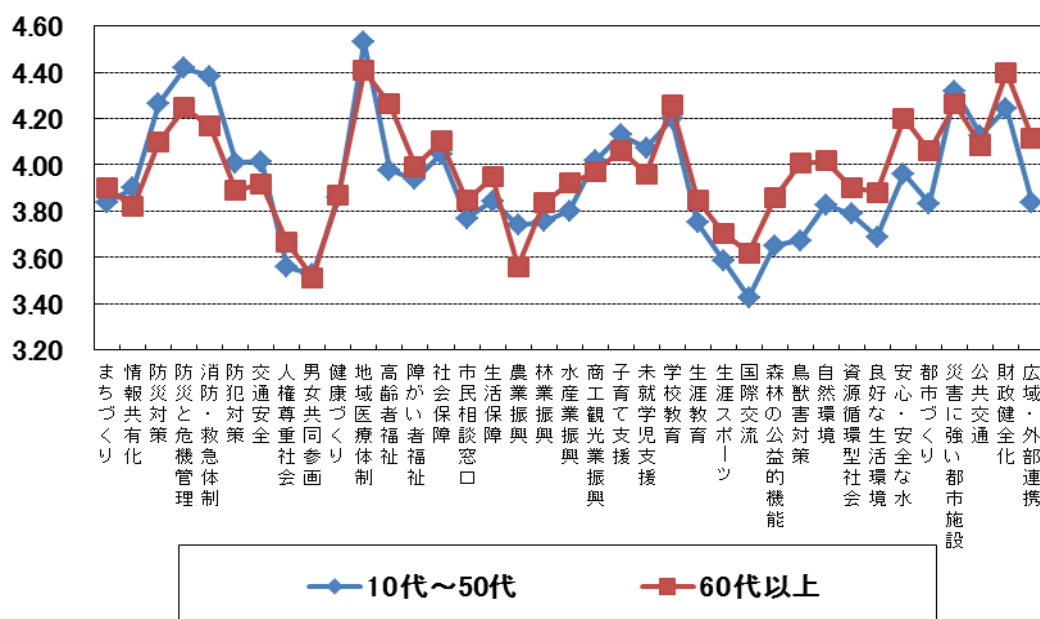
満足度について年代別に見ると、ほとんどの項目で「60代以上」の方が高い割合となっていますが、「自然環境」「鳥獣害対策」では「10代～50代」の方が高くなっています。

また、「地域医療体制」や「子育て支援」などでは、年代によって大きな差が見られます。



## ■重要度×年代

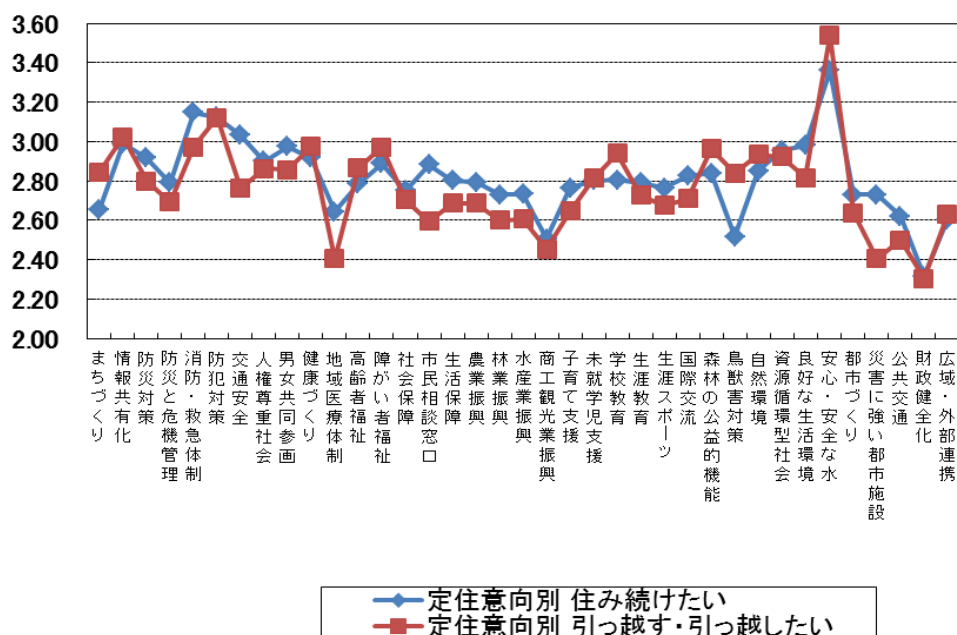
重要度について年代別に見ると、「地域医療体制」や「防災と危機管理」、「消防・救急体制」などでは「10代～50代」の方が高くなっています。「高齢者福祉」や「安心・安全な水」、「財政健全化」などでは、「60代以上」の方がやや高くなっています。



## ■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると「住み続けたい」を選んだ方は、「災害に強い都市施設」や「良好な生活環境」で高い割合となっていますが、「安心・安全な水」や「学校教育」では、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方のほうが高くなっています。

また、「市民相談窓口」、「鳥獣害対策」などでは、定住意向によって大きな差が見られます。



## ■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、「高齢者福祉」や「商工観光業振興」などでは「住み続けたい」を選んだ方の割合が高くなっており、「防災対策」や「学校教育」「災害に強い都市施設」などでは「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方のほうが高くなっています。

